様式1-1

# 平成27 年度（ 26 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 27 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

| 事務事業名 | No. 580101 | みよし市文化協会補助事業 | 主管課名 | 教育行政課 |
|---|---|---|---|---|
| この事務事業の位置 | 政策 | 誰もが健康で生きがいのある暮らし | | |
| | 施策 | 文化・芸術に親しみ、育むまち | 課長名 | 鈴木　正憲 |
| | 基本事業 | 文化団体の育成 | | |

## (1)事業の概要

みよし市における文化・芸術の育成を図ることを目的に、みよし市文化協会の芸術文化活動費及び運営費に対し助成をしている。

**(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標)** ･･･数値は(9)

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 文化協会活動日数 | 日 |
| ② | | |
| ③ | | |

その指標

| (26年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等) | ①自主事業の展示事業として、サンアート、アイモール、ジャスコに毎月展示している。<br>②市民茶会の年3回実施。（平成26年11月には県民茶会を開催）<br>③機関紙「みよし文協」の年3回発刊。<br>④文芸誌の年1回発刊　など<br>文化・芸術活動を積極的に展開している。 |
|---|---|
| 27年度計画 | ■前年と同様<br>□変更あり → 変更内容 |

## (2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

みよし市文化協会に所属している団体

**(6)対象指標(対象の大きさを表す指標)** ･･･数値は(9)

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 文化協会団体数 | 団体 |
| ② | | |
| ③ | | |

## (3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

自主的に活動を行うことができるようにする。

**(7)成果指標(意図の達成度を示す指標)** ･･･数値は(9)

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 自主的な活動件数 | 件 |
| ② | | |
| ③ | | |

## (4)結果(上位基本事業の意図)

自主的に活動できるようにする。

**(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標)** ･･･数値は(9)

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 自主活動グループ数 | 団体 |
| ② | 自主的な活動件数 | 件 |
| ③ | | |

## (9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

| 指標＼年度 | | 単位 | 25年度実績値 | 26年度実績値 | 27年度計画値 | 28年度目標値 | 29年度目標値 | 30年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| (5)の活動指標 | ① | 日 | 46 | 56 | 51 | 51 | 51 | 51 |
| | ② | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | |
| (6)の対象指標 | ① | 団体 | 29 | 29 | 29 | 30 | 30 | 30 |
| | ② | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | |
| (7)の成果指標 | ① | 件 | 68 | 67 | 67 | 67 | 67 | 67 |
| | ② | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | |
| (8)の結果の成果指標 | ① | 団体 | 97 | 97 | 97 | 97 | 97 | 97 |
| | ② | 件 | 68 | 67 | 67 | 67 | 67 | 67 |
| | ③ | | | | | | | |

## (10)予算費目

| 会計 | 01 一般会計 | 款 | 10 | 項 | 05 | 目 | 03 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

## (11)コスト

| (11)コスト | | 年度 | 25年度実績値 | 26年度実績値 | 27年度計画値 | 28年度目標値 | 29年度目標値 | 30年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業費 (決算又は予算額) | | 単位 | 2,324 | 4,855 | 2,700 | 2,800 | 4,800 | 2,800 |
| A 財源内訳 | 国庫支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 県支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 千円 | 2,324 | 4,855 | 2,700 | 2,800 | 4,800 | 2,800 |
| 人件費B | | 千円 | 1,356 | 2,608 | 1,268 | 1,268 | 1,268 | 1,268 |
| | 正職員従事時間×人数 | 時間×人 | 160 × 2 | 142 × 5 | 160 × 2 | 160 × 2 | 160 × 2 | 160 × 2 |
| | 正職員以外の人件費 | 千円 | 169 | 169 | 169 | 169 | 169 | 169 |
| その他費用C | | 千円 | 272 | 375 | 375 | 375 | 375 | 375 |
| トータルコストA+B+C | | 千円 | 3,952 | 7,838 | 4,343 | 4,443 | 6,443 | 4,443 |
| 単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標) | ① | 千円/ 団体 | 136 | 270 | 150 | 148 | 215 | 148 |
| | ② | 千円/ | | | | | | |
| | ③ | 千円/ | | | | | | |

様式1-2

| 2 環境変化と住民意見等 | 事務事業名 | No. | 580101 | みよし市文化協会補助事業 |
|---|---|---|---|---|

| (1)この事務事業はいつから開始したのか？ | (4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？ |
|---|---|
| 昭和43年度　から | 特に課題・意見はない |
| (2)この事務事業を開始したきっかけは？ | |
| 市民の文化・芸術への意識高揚と学習者の発表機会の創出のため。 | |
| (3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ | |
| ■変化していない<br>□変化している → 変化した内容 | |

| 3 評価（SEE） | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 目的妥当性 | (1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？<br>また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？ | □法定受託事務<br>■自治事務 | 根拠法令 | 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する | |
| | | | 根拠法令 | みよし市文化協会補助金交付要綱 | |
| | | | この事務を行う根拠又は理由 | 市民の文化・芸術に対する意識高揚を図るため。 | |
| | (2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？ | ■結びつく<br>□結びつかない | 理由 | | |
| | (3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？ | □できる → □拡大 / □縮小<br>■できない | 内容 | | |
| | (4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？ | □できる → □追加 / □拡充 / □絞込み<br>■できない | 内容 | | |
| 有効性 | (5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？ | ■影響が大きい<br>□多少影響がある<br>□影響はない | 理由又は内容 | | |
| | (6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？<br>※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？ | □できる<br>■できない | 理由又は内容 | 各部会の自主性を尊重したいため。 | |
| | (7)類似又は関連する事業はありませんか？<br>また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？ | ■ある → ■庁内事業 / □庁外事業<br>□ない | 類似事業名 | 生涯学習発表会（生涯学習課） | |
| | | | 類似事業との再編の可能性 | □ある → 内容<br>■ない | |
| 効率性 | (8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など) | ■ある<br>□ない | 内容 | 文化協会会員にも積極的に事業に携わってもらう。 | |
| | (9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？) | □ある<br>■ない | 内容 | | |
| 公平性 | (10)受益者負担はありますか？<br>また、受益者負担割合は適正ですか？ | ■ある / □ない → ■現状で適正 / □検討が必要<br>□受益者がいない | 内容 | | |

| 4 改革改善案（PLAN） | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| (1)今後の事業の方向性 | □拡大 | □改善 | ■現状維持 | □縮小 | □統合 | □廃止・休止 |
| | コストの方向性 | → 維持 | 事業費の方向性 | → 維持 | 成果の方向性 | → 維持 |
| (2)改革・改善案<br>※対象、意図、手段等の見直しなど | | | | | | |

様式1-1

# 平成27 年度（ 26 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 27 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

| 事務事業名 | No. 580103 | みよし演劇文化推進事業 | 主管課名 | 教育行政課 |
|---|---|---|---|---|
| この事務事業の位置 | 政策 | 誰もが健康で生きがいのある暮らし | | |
| | 施策 | 文化・芸術に親しみ、育むまち | 課長名 | 鈴木　正憲 |
| | 基本事業 | 文化団体の育成 | | |

## (1)事業の概要

市の演劇文化を中心とした文化・芸術活動を行う団体に補助金を交付し、一般演劇公演や身近な場所での出前公演事業などの演劇文化活動を支援する。
補助金対象団体は2団体。
　事業費は2,000,000円、補助率は２分の１となる。

**(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標)** ･･･数値は(9)

| | 名　　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 公演回数 | 回 |
| ② | | |
| ③ | | |

その指標

**(26年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)**

市民参加型の演劇文化事業を開催。2月にサンアートレセプションホールにて市内演劇グループ「つるかめさろん」による公演「夜明けの奥地」を2回開催。3月にサンアート小ホールにて市内演劇グループ「劇団Ｉ＆Ｉ」による公演「女の庫」を3回開催。

**27年度計画**　■前年と同様　□変更あり　変更内容

## (2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

公募参加劇団員

**(6)対象指標(対象の大きさを表す指標)** ･･･数値は(9)

| | 名　　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 参加者数 | 人 |
| ② | | |
| ③ | | |

## (3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

①継続して演劇文化活動ができる
②自立的な演劇運営ができる

**(7)成果指標(意図の達成度を示す指標)** ･･･数値は(9)

| | 名　　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 継続して演劇活動する市民の数 | 人 |
| ② | 市民演劇活動グループ数 | 団体 |
| ③ | | |

## (4)結果(上位基本事業の意図)

自主的に活動できるようにする

**(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標)** ･･･数値は(9)

| | 名　　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 自主的な活動件数 | 件 |
| ② | 自主活動グループ数 | 団体 |
| ③ | | |

## (9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

| 指標＼年度 | | 単位 | 25年度実績値 | 26年度実績値 | 27年度計画値 | 28年度目標値 | 29年度目標値 | 30年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| (5)の活動指標 | ① | 回 | 1 | 5 | | | | |
| | ② | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | |
| (6)の対象指標 | ① | 人 | 13 | 44 | | | | |
| | ② | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | |
| (7)の成果指標 | ① | 人 | 25 | 25 | | | | |
| | ② | 団体 | 3 | 2 | | | | |
| | ③ | | | | | | | |
| (8)の結果の成果指標 | ① | 件 | 68 | 70 | | | | |
| | ② | 団体 | 3 | 2 | | | | |
| | ③ | | | | | | | |

**(10)予算費目**　会計　01 一般会計　款 10　項 05　目 08

| (11)コスト | | 年度 | 25年度実績値 | 26年度実績値 | 27年度計画値 | 28年度目標値 | 29年度目標値 | 30年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業費 (決算又は予算額) | | 単位 | 1,171 | 1,558 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| A 財源内訳 | 国庫支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 県支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 千円 | 1,171 | 1,558 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 人件費Ｂ | | 千円 | 927 | 69 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 正職員従事時間×人数 | | 時間×人 | 125 × 2 | 20 × 1 | × | × | × | × |
| 正職員以外の人件費 | | 千円 | 0 | 0 | | | | |
| その他費用Ｃ | | 千円 | 0 | 0 | | | | |
| トータルコストA+B+C | | 千円 | 2,098 | 1,627 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標) | ① | 千円/　人 | 161 | 37 | | | | |
| | ② | 千円/ | | | | | | |
| | ③ | 千円/ | | | | | | |

様式1-2

| 2 環境変化と住民意見等 | 事務事業名 | No. | 580103 | みよし演劇文化推進事業 |
|---|---|---|---|---|

| (1)この事務事業はいつから開始したのか？ | (4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？ |
|---|---|
| 平成２１年度　から | 特に課題・意見はない |
| (2)この事務事業を開始したきっかけは？ | |
| 7年間の三好演劇塾としての活動を終了とし、今後は市民の自主的な演劇活動を指導・支援する。 | |
| (3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ | |
| ■変化していない<br>□変化している → 変化した内容 | |

| 3 評価（SEE） | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 目的妥当性 | (1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？<br>また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？ | □法定受託事務<br>■自治事務 | 根拠法令 | 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する | |
| | | | 根拠法令 | みよし演劇公演等実施事業補助金交付要綱 | |
| | | | この事務を行う根拠又は理由 | みよし市独自の文化演劇振興のための演劇活動グループの育成を行う。 | |
| | (2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？ | ■結びつく<br>□結びつかない | 理由 | | |
| | (3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？ | □できる → □拡大 / □縮小<br>■できない | 内容 | | |
| | (4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？ | □できる → □追加 / □拡充 / □絞込み<br>■できない | 内容 | | |
| 有効性 | (5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？ | ■影響が大きい<br>□多少影響がある<br>□影響はない | 理由又は内容 | | |
| | (6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？<br>※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？ | □できる<br>■できない | 理由又は内容 | 継続して演劇へ参加する者が少ない。 | |
| | (7)類似又は関連する事業はありませんか？<br>また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？ | □ある → □庁内事業 / □庁外事業<br>■ない | 類似事業名 | | |
| | | | 類似事業との再編の可能性 | □ある<br>□ない | 内容 |
| 効率性 | (8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など) | □ある<br>■ない | 内容 | | |
| | (9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？) | □ある<br>■ない | 内容 | | |
| 公平性 | (10)受益者負担はありますか？<br>また、受益者負担割合は適正ですか？ | ■ある / □ない → □現状で適正 / ■検討が必要<br>□受益者がいない | 内容 | 運営費の個人負担（受益者負担）の徴収等 | |

| 4 改革改善案（PLAN） | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| (1)今後の事業の方向性 | □拡大　□改善　□現状維持　□縮小　□統合　■廃止・休止 | | | | | |
| | コストの方向性 | 未評価年度 | 事業費の方向性 | 未評価年度 | 成果の方向性 | 未評価年度 |
| (2)改革・改善案<br>※対象、意図、手段等の見直しなど | 平成２４年度から３年間、市内で活動する演劇グループ等の団体へ補助金を交付し、団体の自立を目指して指導を行い、今後は市民の自主運営とするため、平成２６年度をもってみよし市演劇公演等実施事業補助金を廃止とする。 | | | | | |

様式1-1

# 平成27 年度（ 26 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 27 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

| 事務事業名 | No. 580104 | 芸術文化国際大会等出場者激励事業 | 主管課名 | 教育行政課 |
|---|---|---|---|---|
| この事務事業の位置 | 政策 | 誰もが健康で生きがいのある暮らし | | |
| | 施策 | 文化・芸術に親しみ、育むまち | 課長名 | 鈴木　正憲 |
| | 基本事業 | 文化団体の育成 | | |

## (1)事業の概要

芸術文化の分野において、国際大会等に出場しようとする者に対し、激励金を交付し支援を行う。

## (5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標)　･･･数値は(9)

| | 名　　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 激励金の交付件数 | 件 |
| ② | | |
| ③ | | |

その指標

| (26年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等) | ①対象となる出場者より申請書の提出<br>②激励金の交付<br>③出場者から実績報告書の提出 |
|---|---|
| 27年度計画 | ■前年と同様<br>□変更あり → 変更内容 |

## (2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

①国際大会に出場する者
②国民文化祭、全国高等学校総合文化祭に出場する者
③全国規模以上の大会等（①②以外）に出場する者
(対象となる大会かつ、市民又は市民が所属する団体に限る)

その指標

## (6)対象指標(対象の大きさを表す指標)　･･･数値は(9)

| | 名　　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 国際大会出場者数 | 人 |
| ② | 国民文化祭、全国高等学校総合文化祭出場者数 | 人 |
| ③ | 全国規模以上の大会等（①②以外）出場者数 | 人 |

## (3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

市民の芸術文化の振興が図られ、市民が大会等において好成績をおさめる。

その指標

## (7)成果指標(意図の達成度を示す指標)　･･･数値は(9)

| | 名　　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 全国大会入賞者数 | 人 |
| ② | | |
| ③ | | |

## (4)結果(上位基本事業の意図)

文化芸術の振興について市民の満足度があがる。

その指標

## (8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標)　･･･数値は(9)

| | 名　　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 文化芸術の振興について市民の満足度向上 | % |
| ② | | |
| ③ | | |

## (9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

| 指標 ＼ 年度 | | 単位 | 25年度実績値 | 26年度実績値 | 27年度計画値 | 28年度目標値 | 29年度目標値 | 30年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| (5)の活動指標 | ① | 件 | | 1 | 20 | 20 | 20 | 20 |
| | ② | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | |
| (6)の対象指標 | ① | 人 | | | | | | |
| | ② | 人 | | | | | | |
| | ③ | 人 | | | | | | |
| (7)の成果指標 | ① | 人 | | 1 | 5 | 5 | 5 | 5 |
| | ② | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | |
| (8)の結果の成果指標 | ① | % | | 55.5 | 55.9 | 56.4 | 57 | 58.14 |
| | ② | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | |

## (10)予算費目

| 会計 | 01 一般会計 | 款 | 10 | 項 | 05 | 目 | 08 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

## (11)コスト

| (11)コスト | | 年度 | 25年度実績値 | 26年度実績値 | 27年度計画値 | 28年度目標値 | 29年度目標値 | 30年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業費 (決算又は予算額) | | 単位 | 0 | 5 | 300 | 300 | 300 | 300 |
| A 財源内訳 | 国庫支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 県支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 千円 | 0 | 5 | 300 | 300 | 300 | 300 |
| 人件費B | | 千円 | 0 | 35 | 35 | 35 | 35 | 35 |
| | 正職員従事時間×人数 | 時間×人 | × | 5 × 2 | 5 × 2 | 5 × 2 | 5 × 2 | 5 × 2 |
| | 正職員以外の人件費 | 千円 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他費用C | | 千円 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| トータルコストA+B+C | | 千円 | 0 | 40 | 335 | 335 | 335 | 335 |
| 単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標) | ① | 千円/　人 | | | | | | |
| | ② | 千円/　人 | | | | | | |
| | ③ | 千円/　人 | | | | | | |

様式1-2

| 2 環境変化と住民意見等 | 事務事業名 | No. | 580104 | 芸術文化国際大会等出場者激励事業 |
|---|---|---|---|---|

| (1)この事務事業はいつから開始したのか？ | (4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？ |
|---|---|
| 平成２６年4月　から | 対象が芸術文化の分野であるため、スポーツ部門と比較すると国際大会が少ない。 |
| (2)この事務事業を開始したきっかけは？<br>本市の名声を高めるとともに芸術文化の振興及び青少年の健全育成に寄与するため。 | |
| (3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？<br>■変化していない<br>□変化している → 変化した内容 | |

| 3 評価（SEE） | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 目的妥当性 | (1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？<br>また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？ | □法定受託事務<br>□自治事務 | 根拠法令 | 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する | |
| | | | 根拠法令 | | |
| | | | この事務を行う根拠又は理由 | | |
| | (2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？ | □結びつく<br>□結びつかない | 理由 | | |
| | (3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？ | □できる → □拡大 / □縮小<br>□できない | 内容 | | |
| | (4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？ | □できる → □追加 / □拡充 / □絞込み<br>□できない | 内容 | | |
| 有効性 | (5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？ | □影響が大きい<br>□多少影響がある<br>□影響はない | 理由又は内容 | | |
| | (6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？<br>※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？ | ■できる<br>□できない | 理由又は内容 | 市民への周知 | |
| | (7)類似又は関連する事業はありませんか？<br>また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？ | ■ある → ■庁内事業 / □庁外事業<br>□ない | 類似事業名 | 国体、全国大会出場激励事業 | |
| | | | 類似事業との再編の可能性 | □ある → ■ない | 内容 |
| 効率性 | (8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など) | □ある<br>■ない | 内容 | | |
| | (9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？) | □ある<br>■ない | 内容 | | |
| 公平性 | (10)受益者負担はありますか？<br>また、受益者負担割合は適正ですか？ | □ある / ■ない → ■現状で適正 / □検討が必要<br>□受益者がいない | 内容 | | |

| 4 改革改善案（PLAN） | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| (1)今後の事業の方向性 | □拡大 | □改善 | ■現状維持 | □縮小 | □統合 | □廃止・休止 |
| | コストの方向性 | → 維持 | 事業費の方向性 | → 維持 | 成果の方向性 | → 維持 |
| (2)改革・改善案<br>※対象、意図、手段等の見直しなど | | | | | | |

様式1-1

# 平成27 年度（ 26 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 27 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

| 事務事業名 | No. 580202 | 文化事業委託事業 | 主管課名 | 教育行政課 |
|---|---|---|---|---|
| この事務事業の位置 | 政策 | 誰もが健康で生きがいのある暮らし | | |
| | 施策 | 文化・芸術に親しみ、育むまち | 課長名 | 鈴木　正憲 |
| | 基本事業 | 文化事業の展開 | | |

## (1)事業の概要

市の文化展(春)、文化祭(秋)、公募美術展をみよし市文化協会に委託し、サンアートにて実施している。
<平成26年度>
春の文化展　5月 8日（木）～ 5月11日（日）
公募美術展　9月 2日（火）～ 9月 7日（日）
みよし市文化祭　10月31日（金）～11月 3日（月・祝）

(26年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)
①春の文化展では展示発表に398点を出展、芸能発表には11団体が参加
②秋の文化祭では展示発表に405点を出展、芸能発表には10団体が参加
③公募美術展では171点の応募があった。

27年度計画　■前年と同様　□変更あり　変更内容

## (5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標)　･･･数値は(9)

その指標

| | 名称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 開催日数 | 日 |
| ② | | |
| ③ | | |

## (2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

①文化協会会員
②公募美術展公募者

## (6)対象指標(対象の大きさを表す指標)　･･･数値は(9)

その指標

| | 名称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 文化協会会員数 | 人 |
| ② | 公募美術展応募者数 | 人 |
| ③ | | |

## (3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

文化・芸術の技能を高めてもらう

## (7)成果指標(意図の達成度を示す指標)　･･･数値は(9)

その指標

| | 名称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 出品点数 | 点 |
| ② | 出演人数 | 人 |
| ③ | | |

## (4)結果(上位基本事業の意図)

文化芸術活動に参加してもらう

## (8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標)　･･･数値は(9)

その指標

| | 名称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 自主的な活動件数 | 件 |
| ② | 文化センターサンアートの年間利用者数 | 人 |
| ③ | | |

## (9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

| 指標＼年度 | | 単位 | 25年度実績値 | 26年度実績値 | 27年度計画値 | 28年度目標値 | 29年度目標値 | 30年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| (5)の活動指標 | ① | 日 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 |
| | ② | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | |
| (6)の対象指標 | ① | 人 | 887 | 859 | 843 | 940 | 940 | 940 |
| | ② | 人 | 159 | 171 | 180 | 180 | 180 | 180 |
| | ③ | | | | | | | |
| (7)の成果指標 | ① | 点 | 1,008 | 974 | 1,200 | 1,200 | 1,200 | 1,200 |
| | ② | 人 | 269 | 244 | 270 | 270 | 270 | 270 |
| | ③ | | | | | | | |
| (8)の結果の成果指標 | ① | 件 | 68 | 67 | 67 | 67 | 67 | 67 |
| | ② | 人 | 224,085 | 230,000 | 230,000 | 230,000 | 230,000 | 230,000 |
| | ③ | | | | | | | |

## (10)予算費目

| 会計 | 01 一般会計 | 款 | 10 | 項 | 05 | 目 | 03 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

## (11)コスト

| (11)コスト | | 年度 | 25年度実績値 | 26年度実績値 | 27年度計画値 | 28年度目標値 | 29年度目標値 | 30年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業費 (決算又は予算額) | | 単位 | 4,312 | 4,687 | 4,700 | 6,200 | 4,700 | 4,700 |
| A 財源内訳 | 国庫支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 県支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 1,000 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 千円 | 4,312 | 4,687 | 4,700 | 5,200 | 4,700 | 4,700 |
| 人件費B | | 千円 | 835 | 1,082 | 1,082 | 1,082 | 1,082 | 1,082 |
| | 正職員従事時間×人数 | 時間×人 | 75 × 3 | 105 × 3 | 105 × 3 | 105 × 3 | 105 × 3 | 105 × 3 |
| | 正職員以外の人件費 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| その他費用C | | 千円 | 496 | 403 | 403 | 403 | 403 | 403 |
| トータルコストA+B+C | | 千円 | 5,643 | 6,172 | 6,185 | 7,685 | 6,185 | 6,185 |
| 単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標) | ① | 千円/ 人 | 6 | 7 | 7 | 8 | 7 | 7 |
| | ② | 千円/ 人 | 35 | 36 | 34 | 43 | 34 | 34 |
| | ③ | 千円/ | | | | | | |

様式1-2

| 2 環境変化と住民意見等 | 事務事業名 | No. | 580202 | 文化事業委託事業 |
|---|---|---|---|---|

**(1)この事務事業はいつから開始したのか？**

昭和43年度　から

**(2)この事務事業を開始したきっかけは？**

市民の文化・芸術への意識高揚と学習者の発表機会の創出のため。

**(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？**

■ 変化していない
□ 変化している → 変化した内容

**(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？**

特に課題・意見はない

## 3 評価（SEE）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 目的妥当性 | (1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？<br>また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？ | □法定受託事務<br>■自治事務 | 根拠法令 | 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する |
| | | | 根拠法令 | なし |
| | | | この事務を行う根拠又は理由 | 市民に文化・芸術意識の高揚と学習者の発表機会の創出のため。 |
| | (2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？ | ■結びつく<br>□結びつかない | 理由 | |
| | (3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？ | □できる → □拡大 / □縮小<br>■できない | 内容 | |
| | (4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？ | □できる → □追加 / □拡充 / □絞込み<br>■できない | 内容 | |
| 有効性 | (5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？ | ■影響が大きい<br>□多少影響がある<br>□影響はない | 理由又は内容 | |
| | (6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？<br>※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？ | ■できる<br>□できない | 理由又は内容 | ＰＲ活動の充実により参加者の増加 |
| | (7)類似又は関連する事業はありませんか？<br>また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？ | ■ある → ■庁内事業 / □庁外事業<br>□ない | 類似事業名 | 生涯学習発表会（生涯学習課） |
| | | | 類似事業との再編の可能性 | □ある → 内容<br>■ない |
| 効率性 | (8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など) | ■ある<br>□ない | 内容 | 文化協会会員に積極的に事業に参加してもらう |
| | (9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？) | □ある<br>■ない | 内容 | |
| 公平性 | (10)受益者負担はありますか？<br>また、受益者負担割合は適正ですか？ | □ある / ■ない → □現状で適正 / ■検討が必要<br>□受益者がいない | 内容 | 文化祭、公募美術展において、出品数１点、出演者１人ごとに運営負担金を求める。 |

## 4 改革改善案（PLAN）

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| (1)今後の事業の方向性 | □拡大 | □改善 | ■現状維持 | □縮小 | □統合 | □廃止・休止 |
| | コストの方向性 | ↑　増加 | 事業費の方向性 | ↑　増額 | 成果の方向性 | →　維持 |
| (2)改革・改善案<br>※対象、意図、手段等の見直しなど | | | | | | |

様式1-1

# 平成27 年度（ 26 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 27 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

| 事務事業名 | No. 580203 | コンサート・演劇開催事業 | 主管課名 | 教育行政課 |
|---|---|---|---|---|
| この事務事業の位置 | 政策 | 誰もが健康で生きがいのある暮らし | | |
| | 施策 | 文化・芸術に親しみ、育むまち | 課長名 | 鈴木　正憲 |
| | 基本事業 | 文化事業の展開 | | |

## (1)事業の概要

サンアートを会場に、文化・芸術事業を開催し、市民の文化意識の高揚を図っている。

毎年度、鑑賞型事業を１事業開催

(26年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)

名古屋フィルハーモニー交響楽団
①ワークショップ（2月1日開催）
②ウィンターコンサート（2月15日開催）

27年度計画　□前年と同様　■変更あり　変更内容　H27から580205サンアート維持管理事業へ統合

## (5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標)　･･･数値は(9)

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 公演事業数 | 回 |
| ② | | |
| ③ | | |

その指標

## (2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

市民

## (6)対象指標(対象の大きさを表す指標)　･･･数値は(9)

その指標

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 人口 | 人 |
| ② | | |
| ③ | | |

## (3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

優れたプロの芸術を鑑賞する機会を提供する。

## (7)成果指標(意図の達成度を示す指標)　･･･数値は(9)

その指標

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | ワークショップ参加者、コンサート鑑賞者／全席数 | % |
| ② | | |
| ③ | | |

## (4)結果(上位基本事業の意図)

文化芸術活動に参加してもらう

## (8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標)　･･･数値は(9)

その指標

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 文化センターサンアートの年間利用者数 | 人 |
| ② | 自主的な活動件数 | 件 |
| ③ | | |

## (9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

| 指標＼年度 | | 単位 | 25年度実績値 | 26年度実績値 | 27年度計画値 | 28年度目標値 | 29年度目標値 | 30年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| (5)の活動指標 | ① | 回 | 2 | 1 | | | | |
| | ② | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | |
| (6)の対象指標 | ① | 人 | 59,474 | 59,885 | | | | |
| | ② | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | |
| (7)の成果指標 | ① | % | 72.5 | 62.9 | | | | |
| | ② | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | |
| (8)の結果の成果指標 | ① | 人 | 224,085 | 230,000 | | | | |
| | ② | 件 | 68 | 70 | | | | |
| | ③ | | | | | | | |

## (10)予算費目

| 会計 | 01 一般会計 | 款 | 10 | 項 | 05 | 目 | 08 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

## (11)コスト

| (11)コスト | | 年度 | 25年度実績値 | 26年度実績値 | 27年度計画値 | 28年度目標値 | 29年度目標値 | 30年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業費 (決算又は予算額) | | 単位 | 761 | 1,839 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| A 財源内訳 | 国庫支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 県支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 千円 | 611 | 1,839 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 千円 | 150 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 人件費B | | 千円 | 927 | 1,443 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 正職員従事時間×人数 | 時間×人 | 125 × 2 | 210 × 2 | × | × | × | × |
| | 正職員以外の人件費 | 千円 | 0 | 0 | | | | |
| その他費用C | | 千円 | 293 | 216 | | | | |
| トータルコストA+B+C | | 千円 | 1,981 | 3,498 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標) | ① | 千円/　人 | 0 | 0 | | | | |
| | ② | 千円/ | | | | | | |
| | ③ | 千円/ | | | | | | |

様式1-2

| 2 環境変化と住民意見等 | 事務事業名 | No. | 580203 | コンサート・演劇開催事業 |
|---|---|---|---|---|

**(1)この事務事業はいつから開始したのか？**

平成5年度　から

**(2)この事務事業を開始したきっかけは？**

サンアート開館にあわせて、目玉事業として実施。

**(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？**

□変化していない
■変化している → 変化した内容：指定管理者制度の導入により、指定管理者も同様の事業を実施している。

**(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？**

指定管理者が行う同様の鑑賞型事業もあるため、市民には違いが分かり難い。
市が鑑賞型事業を企画する際、民間のような柔軟な企画が円滑に行えないため、事業内容が限定されがちとなる。

| 3 評価（SEE） | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 目的妥当性 | (1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？<br>また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？ | □法定受託事務<br>■自治事務 | 根拠法令 | 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する | |
| | | | 根拠法令 | サンアート自主文化振興事業計画 | |
| | | | この事務を行う根拠又は理由 | 質の高い文化芸術鑑賞の場の提供 | |
| | (2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？ | ■結びつく<br>□結びつかない | 理由 | | |
| | (3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？ | □できる → □拡大 / □縮小<br>■できない | 内容 | | |
| | (4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？ | □できる → □追加 / □拡充 / □絞込み<br>■できない | 内容 | | |
| 有効性 | (5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？ | ■影響が大きい<br>□多少影響がある<br>□影響はない | 理由又は内容 | | |
| | (6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？<br>※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？ | ■できる<br>□できない | 理由又は内容 | 住民ニーズの把握と、それにあった文化芸術事業の選定 | |
| | (7)類似又は関連する事業はありませんか？<br>また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？ | ■ある → ■庁内事業 / □庁外事業<br>□ない | 類似事業名 | サンアート維持管理事業 | |
| | | | 類似事業との再編の可能性 | ■ある<br>□ない | 内容：指定管理者に委託している自主文化事業に統合 |
| 効率性 | (8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など) | □ある<br>■ない | 内容 | | |
| | (9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？) | ■ある<br>□ない | 内容 | 指定管理者に委託している自主文化事業に統合 | |
| 公平性 | (10)受益者負担はありますか？<br>また、受益者負担割合は適正ですか？ | ■ある → ■現状で適正<br>□ない → □検討が必要<br>□受益者がいない | 内容 | | |

| 4 改革改善案（PLAN） | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| (1)今後の事業の方向性 | □拡大 | □改善 | □現状維持 | □縮小 | ■統合 | □廃止・休止 |
| | コストの方向性 | 未評価年度 | 事業費の方向性 | 未評価年度 | 成果の方向性 | 未評価年度 |
| (2)改革・改善案<br>※対象、意図、手段等の見直しなど | 平成27年度から580205サンアート維持管理事業へ統合<br>平成２６年度、次期（平成２７～３１年度）指定管理者選定において、指定管理者の行う自主文化事業に統合するものとして指定管理者を公募し,決定した指定管理者がこれまでの自主文化事業に加えて実施。指定管理者である民間団体が柔軟な企画力により効果的な事業実施をすることが可能となり、成果の向上が期待できる。 | | | | | |

様式1-1

# 平成27 年度（ 26 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 27 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

| 事務事業名 | No. 580204 | アートプラザ開催事業 | 主管課名 | 教育行政課 |
|---|---|---|---|---|
| この事務事業の位置 | 政策 | 誰もが健康で生きがいのある暮らし | | |
| | 施策 | 文化・芸術に親しみ、育むまち | 課長名 | 鈴木　正憲 |
| | 基本事業 | 文化事業の展開 | | |

## (1)事業の概要

サンアートにおいて、市民が文化・芸術活動に触れてもらえるようアートプラザ事業としてみよし音楽祭を展開している。
●市民合唱交流会・・平成26年11月30日に開催予定
●平成10年6月に創設されたみよし少年少女合唱団は、平成26年度から保護者会による運営に移行し、育成事業から補助事業へと移行した。

## (5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標)　･･･数値は(9)

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | コンサート等開催数 | 回 |
| ② | | |
| ③ | | |

その指標

| (26年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等) | ①合唱交流会　11月 30日に開催<br>②少年少女定期演奏会　3月 1日に開催 |
|---|---|
| 27年度計画 | ■前年と同様<br>□変更あり → 変更内容 |

## (2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

市民

## (6)対象指標(対象の大きさを表す指標)　･･･数値は(9)

その指標

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 人口 | 人 |
| ② | | |
| ③ | | |

## (3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

①発表の場を提供し、音楽活動を広める
②身近に生演奏を鑑賞することで、音楽への鑑賞を高める。

## (7)成果指標(意図の達成度を示す指標)　･･･数値は(9)

その指標

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 出演したアーティスト数 | 人 |
| ② | コンサート入場者数 | 人 |
| ③ | | |

## (4)結果(上位基本事業の意図)

文化芸術活動に参加してもらう

## (8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標)　･･･数値は(9)

その指標

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 自主的な活動件数 | 件 |
| ② | 文化センターサンアートの年間利用者数 | 人 |
| ③ | | |

## (9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

| 指標 ＼ 年度 | | 単位 | 25年度実績値 | 26年度実績値 | 27年度計画値 | 28年度目標値 | 29年度目標値 | 30年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| (5)の活動指標 | ① | 回 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | ② | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | |
| (6)の対象指標 | ① | 人 | 59,474 | 59,885 | 60,800 | 61,400 | 62,000 | 62,600 |
| | ② | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | |
| (7)の成果指標 | ① | 人 | 348 | 360 | 310 | 310 | 310 | 310 |
| | ② | 人 | 1,200 | 1,400 | 1,000 | 1,000 | 1,000 | 1,000 |
| | ③ | | | | | | | |
| (8)の結果の成果指標 | ① | 件 | 68 | 58 | 70 | 70 | 70 | 70 |
| | ② | 人 | 224,085 | 230,000 | 230,000 | 230,000 | 230,000 | 230,000 |
| | ③ | | | | | | | |

## (10)予算費目

| 会計 | 01 一般会計 | 款 | 10 | 項 | 05 | 目 | 08 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

## (11)コスト

| (11)コスト | | 年度 | 25年度実績値 | 26年度実績値 | 27年度計画値 | 28年度目標値 | 29年度目標値 | 30年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業費 (決算又は予算額) | | 単位 | 1,546 | 1,294 | 1,681 | 1,330 | 1,330 | 1,330 |
| A 財源内訳 | 国庫支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 県支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 千円 | 264 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 千円 | 1,282 | 1,294 | 1,681 | 1,330 | 1,330 | 1,330 |
| 人件費B | | 千円 | 2,981 | 1,546 | 1,546 | 1,546 | 1,546 | 1,546 |
| | 正職員従事時間×人数 | 時間×人 | 201 × 4 | 150 × 3 | 150 × 3 | 150 × 3 | 150 × 3 | 150 × 3 |
| | 正職員以外の人件費 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| その他費用C | | 千円 | 751 | 192 | 192 | 192 | 192 | 192 |
| トータルコストA+B+C | | 千円 | 5,278 | 3,032 | 3,419 | 3,068 | 3,068 | 3,068 |
| 単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標) | ① | 千円/　人 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | ② | 千円/ | | | | | | |
| | ③ | 千円/ | | | | | | |

様式1-2

| 2 環境変化と住民意見等 | 事務事業名 | No. | 580204 | アートプラザ開催事業 |
|---|---|---|---|---|

**(1)この事務事業はいつから開始したのか？**

平成１０年度　から

**(2)この事務事業を開始したきっかけは？**

平成９年度にアマチュア演奏家から発表の場がほしいとの意見があり、開催方法を検討し、翌年度から実施した。

**(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？**

■ 変化していない
□ 変化している → 変化した内容

**(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？**

特に課題・意見はない

## 3 評価（SEE）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 目的妥当性 | (1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？<br>また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？ | □法定受託事務<br>■自治事務 | 根拠法令 | 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する |
| | | | 根拠法令 | なし |
| | | | この事務を行う根拠又は理由 | アマチュア・セミプロアーティストへの発表の場を提供し、文化芸術に親しみ、芸術活動を身近に感じる機会を提供するため。 |
| | (2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？ | ■結びつく<br>□結びつかない | 理由 | |
| | (3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？ | □できる → □拡大 / □縮小<br>■できない | 内容 | |
| | (4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？ | □できる → □追加 / □拡充 / □絞込み<br>■できない | 内容 | |
| 有効性 | (5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？ | ■影響が大きい<br>□多少影響がある<br>□影響はない | 理由又は内容 | |
| | (6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？<br>※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？ | ■できる<br>□できない | 理由又は内容 | 各催し物の開催時期を他のイベントと連携して実施する。 |
| | (7)類似又は関連する事業はありませんか？<br>また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？ | □ある → □庁内事業 / □庁外事業<br>■ない | 類似事業名 | |
| | | | 類似事業との再編の可能性 | □ある → 内容<br>□ない |
| 効率性 | (8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など) | □ある<br>■ない | 内容 | |
| | (9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？) | □ある<br>■ない | 内容 | |
| 公平性 | (10)受益者負担はありますか？<br>また、受益者負担割合は適正ですか？ | □ある / ■ない → ■現状で適正 / □検討が必要<br>□受益者がいない | 内容 | |

## 4 改革改善案（PLAN）

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| (1)今後の事業の方向性 | □拡大 | □改善 | ■現状維持 | □縮小 | □統合 | □廃止・休止 |
| | コストの方向性 | ↓　削減 | 事業費の方向性 | ↓　減額 | 成果の方向性 | →　維持 |
| (2)改革・改善案<br>※対象、意図、手段等の見直しなど | | | | | | |

様式1-1

# 平成27 年度（ 26 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 27 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

| 事務事業名 | No. 580205 | サンアート維持管理事業 | 主管課名 | 教育行政課 |
|---|---|---|---|---|
| この事務事業の位置 | 政策 | 誰もが健康で生きがいのある暮らし | | |
| | 施策 | 文化・芸術に親しみ、育むまち | 課長名 | 鈴木　正憲 |
| | 基本事業 | 文化事業の展開 | | |

## (1)事業の概要

文化センターサンアートの維持管理を指定管理者制度を活用し、民間企業に委託している。

老朽化している施設の修理を計画的に実施

## (5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標)　･･･数値は(9)

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 勤労文化会館の会館日数 | 日 |
| ② | ふるさと会館の会館日数 | 日 |
| ③ | | |

その指標

| (26年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等) | 指定管理者制度の導入により、会館管理全般（設備管理、清掃管理、夜間危機管理、樹木管理、舞台管理、受付業務等）と保守点検業務（舞台機構、舞台照明、エレベーター、自動扉等）を指定管理者への委託で実施している。 |
|---|---|
| 27年度計画 | ■前年と同様<br>□変更あり → 変更内容 |

## (2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

①みよし市勤労文化会館
②みよし市ふるさと会館

## (6)対象指標(対象の大きさを表す指標)　･･･数値は(9)

その指標

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 勤労文化会館の面積 | ㎡ |
| ② | ふるさと会館の面積 | ㎡ |
| ③ | | |

## (3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

①勤労文化会館が市民にとって、利用しやすく快適で安全な施設である。
②ふるさと会館が日本文化紹介施設として、有効活用される。

## (7)成果指標(意図の達成度を示す指標)　･･･数値は(9)

その指標

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 勤労文化会館の利用者数 | 人 |
| ② | ふるさと会館の利用者数 | 人 |
| ③ | | |

## (4)結果(上位基本事業の意図)

文化芸術活動に参加してもらう

## (8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標)　･･･数値は(9)

その指標

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 自主的な活動件数 | 件 |
| ② | 文化センターサンアートの年間利用者数 | 人 |
| ③ | | |

## (9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

| 指標 ＼ 年度 | | 単位 | 25年度実績値 | 26年度実績値 | 27年度計画値 | 28年度目標値 | 29年度目標値 | 30年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| (5)の活動指標 | ① | 日 | 316 | 315 | 315 | 315 | 315 | 315 |
| | ② | 日 | 315 | 315 | 315 | 315 | 315 | 315 |
| | ③ | | | | | | | |
| (6)の対象指標 | ① | ㎡ | 12,051.69 | 12,051.69 | 12,051.69 | 12,051.69 | 12,051.69 | 12,051.69 |
| | ② | ㎡ | 402 | 402 | 402 | 402 | 402 | 402 |
| | ③ | | | | | | | |
| (7)の成果指標 | ① | 人 | 218,270 | 223,500 | 223,500 | 223,500 | 223,500 | 223,500 |
| | ② | 人 | 5,815 | 6,600 | 6,600 | 6,600 | 6,600 | 6,600 |
| | ③ | | | | | | | |
| (8)の結果の成果指標 | ① | 件 | 68 | 70 | 70 | 70 | 70 | 70 |
| | ② | 人 | 224,085 | 230,000 | 230,000 | 230,000 | 230,000 | 230,000 |
| | ③ | | | | | | | |

## (10)予算費目

| 会計 | 01 一般会計 | 款 | 10 | 項 | 05 | 目 | 08 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

## (11)コスト

| (11)コスト | | 年度 | 25年度実績値 | 26年度実績値 | 27年度計画値 | 28年度目標値 | 29年度目標値 | 30年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業費 (決算又は予算額) | | 単位 | 238,370 | 300,625 | 436,172 | 454,985 | 555,539 | 540,731 |
| A 財源内訳 | 国庫支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 県支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 千円 | 0 | 0 | 120,000 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 千円 | 99,139 | 159,603 | 138,086 | 148,086 | 198,086 | 198,086 |
| | 一般財源 | 千円 | 139,231 | 141,022 | 178,086 | 306,899 | 357,453 | 342,645 |
| 人件費B | | 千円 | 1,076 | 3,452 | 3,452 | 3,452 | 3,452 | 3,452 |
| | 正職員従事時間×人数 | 時間×人 | 145 × 2 | 335 × 3 | 335 × 3 | 335 × 3 | 335 × 3 | 335 × 3 |
| | 正職員以外の人件費 | 千円 | | | | | | |
| その他費用C | | 千円 | 231 | 868 | 868 | 868 | 868 | 868 |
| トータルコストA+B+C | | 千円 | 239,677 | 304,945 | 440,492 | 459,305 | 559,859 | 545,051 |
| 単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標) | ① | 千円/ ㎡ | 20 | 25 | 37 | 38 | 46 | 45 |
| | ② | 千円/ ㎡ | 596 | 759 | 1,096 | 1,143 | 1,393 | 1,356 |
| | ③ | 千円/ | | | | | | |

様式1-2

| 2 環境変化と住民意見等 | 事務事業名 | No. | 580205 | サンアート維持管理事業 |
|---|---|---|---|---|

| (1)この事務事業はいつから開始したのか？ | (4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？ |
|---|---|
| 平成5年7月 から | 市と指定管理者が主催者として、鑑賞型文化事業をそれぞれ実施している。内容に違いがないため、市民にとっては主催の違い等がわからない。 |
| (2)この事務事業を開始したきっかけは？ | |
| サンアート開館と同時に実施した | |
| (3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ | |
| □変化していない<br>■変化している → 変化した内容 平成１９年４月から指定管理者導入 | |

| 3 評価（SEE） | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 目的妥当性 | (1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？<br>また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？ | □法定受託事務<br>■自治事務 | 根拠法令 | 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する | |
| | | | 根拠法令 | みよし市勤労文化会館設置条例・みよし市ふるさと会館設置条例 | |
| | | | この事務を行う根拠又は理由 | 広く民間活力を導入し、管理効率を高めるとともに、利用者にとって利用しやすい施設を維持する。 | |
| | (2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？ | ■結びつく<br>□結びつかない | 理由 | | |
| | (3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？ | □できる → □拡大 / □縮小<br>■できない | 内容 | | |
| | (4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？ | □できる → □追加 / □拡充 / □絞込み<br>■できない | 内容 | | |
| 有効性 | (5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？ | ■影響が大きい<br>□多少影響がある<br>□影響はない | 理由又は内容 | | |
| | (6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？<br>※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？ | ■できる<br>□できない | 理由又は内容 | 市が行っている鑑賞型事業を指定管理者である民間団体が柔軟な企画力により実施することで、成果の向上が期待できる。 | |
| | (7)類似又は関連する事業はありませんか？<br>また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？ | ■ある → ■庁内事業 / □庁外事業<br>□ない | 類似事業名 | コンサート・演劇開催事業 | |
| | | | 類似事業との再編の可能性 | ■ある → 内容 | コンサート・演劇開催事業費を既存の指定管理者の自主文化事業費に上乗せする。 |
| | | | | □ない | |
| 効率性 | (8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など) | □ある<br>■ない | 内容 | | |
| | (9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？) | □ある<br>■ない | 内容 | | |
| 公平性 | (10)受益者負担はありますか？<br>また、受益者負担割合は適正ですか？ | ■ある → □現状で適正 / ■検討が必要<br>□ない → □現状で適正 / ■検討が必要<br>□受益者がいない | 内容 | 利用料等受益者負担の見直し（５年ごとに見直し） | |

| 4 改革改善案（PLAN） | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| (1)今後の事業の方向性 | ■拡大 | □改善 | □現状維持 | □縮小 | □統合 | □廃止・休止 |
| | コストの方向性 | → 維持 | 事業費の方向性 | → 維持 | 成果の方向性 | → 維持 |
| (2)改革・改善案<br>※対象、意図、手段等の見直しなど | 施設の老朽化に対応するため、平成２７年度から大規模改修を計画的に実施する。<br>平成２６年度は、屋上防水・外壁改修の実施設計を行った。<br>平成２７年度からの指定管理者の選定を機に、市の持つコンサート・演劇開催事業費分を指定管理者の既存の自主文化事業費に上乗せすることにより、より効果的な鑑賞型事業が実施できる。 | | | | | |

様式1-1

# 平成27 年度（ 26 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 27 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

| 事務事業名 | No. 580302 | 文化財保護委員会運営事業 | 主管課名 | 教育行政課 |
|---|---|---|---|---|
| この事務事業の位置 | 政策 | 誰もが健康で生きがいのある暮らし | | |
| | 施策 | 文化・芸術に親しみ、育むまち | 課長名 | 神谷　浩一 |
| | 基本事業 | 文化財の保存と活用 | | |

## (1)事業の概要

文化財の保存、活用等に関し教育委員会の諮問に答え、または教育委員会に意見を具申し、及びこのために必要な調査研究を行なう。

**(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標)** ･･･数値は(9)

| | 名　　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 文化財保護委員会の開催回数 | 回 |
| ② | 文化財保護委員会研修会の実施回数 | 回 |
| ③ | | |

その指標

| (26年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等) | ①文化財保護委員会の開催（２回）<br>②文化財保護委員会研修会の実施（３回）<br>③文化財の保護に関する審議（１件：文化財資料の購入） |
|---|---|
| 27年度計画 | ■前年と同様<br>□変更あり → 変更内容 |

## (2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

①文化財保護に関する諮問及び重要事項

**(6)対象指標(対象の大きさを表す指標)** ･･･数値は(9)

| | 名　　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 文化財保護に関する諮問及び重要事項の審議案件 | 件 |
| ② | | |
| ③ | | |

## (3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

①文化財保護に関する諮問及び重要事項を審議し、教育委員会に意見を提出してもらう。

**(7)成果指標(意図の達成度を示す指標)** ･･･数値は(9)

| | 名　　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 文化財保護に関する答申及び建議の件数 | 件 |
| ② | | |
| ③ | | |

## (4)結果(上位基本事業の意図)

①伝統文化を保護保存し次代に継承する

**(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標)** ･･･数値は(9)

| | 名　　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 伝統文化の保存と継承が重要であると答えた人の割合 | % |
| ② | 伝統文化の保存と継承に満足と答えた人の割合 | % |
| ③ | | |

## (9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

| 指標＼年度 | | 単位 | 25年度実績値 | 26年度実績値 | 27年度計画値 | 28年度目標値 | 29年度目標値 | 30年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| (5)の活動指標 | ① | 回 | 2 | 1 | 2 | 3 | 2 | 2 |
| | ② | 回 | 3 | 3 | 3 | 2 | 3 | 3 |
| | ③ | | | | | | | |
| (6)の対象指標 | ① | 件 | 2 | 0 | 2 | 2 | 1 | 1 |
| | ② | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | |
| (7)の成果指標 | ① | 件 | 2 | 0 | 2 | 2 | 1 | 1 |
| | ② | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | |
| (8)の結果の成果指標 | ① | % | 62 | 73 | 73 | 73 | 73 | 73 |
| | ② | % | 53 | 55 | 55 | 55 | 55 | 55 |
| | ③ | | | | | | | |

**(10)予算費目**　会計　01 一般会計　款 10　項 05　目 06

| (11)コスト | | 年度 | 25年度実績値 | 26年度実績値 | 27年度計画値 | 28年度目標値 | 29年度目標値 | 30年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業費 (決算又は予算額) | | 単位 | 208 | 195 | 253 | 253 | 253 | 253 |
| A 財源内訳 | 国庫支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 県支出金 | 千円 | 0 | 0 | 20 | 20 | 20 | 20 |
| | 地方債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 千円 | 208 | 195 | 233 | 233 | 233 | 233 |
| 人件費B | | 千円 | 675 | 598 | 629 | 629 | 629 | 629 |
| | 正職員従事時間×人数 | 時間×人 | 60 × 3 | 58 × 3 | 60 × 3 | 60 × 3 | 60 × 3 | 60 × 3 |
| | 正職員以外の人件費 | 千円 | 7 | 0 | 10 | 10 | 10 | 10 |
| その他費用C | | 千円 | | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 |
| トータルコストA+B+C | | 千円 | 883 | 798 | 887 | 887 | 887 | 887 |
| 単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標) | ① | 千円/　件 | 442 | | 444 | 444 | 887 | 887 |
| | ② | 千円/ | | | | | | |
| | ③ | 千円/ | | | | | | |

様式1-2

| 2 環境変化と住民意見等 | 事務事業名 | No. | 580302 | 文化財保護委員会運営事業 |
|---|---|---|---|---|

| (1)この事務事業はいつから開始したのか？ | (4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？ |
|---|---|
| 昭和４７年度　から | 文化財を次代に継承するために、文化財保護に関する他市町村の取り組み状況の調査研修や、他機関主催の研修会等への参加を通じた文化財保護に関する情報収集が必要である。また、新たな市指定文化財の検討を行う。 |
| (2)この事務事業を開始したきっかけは？ | |
| 昭和４６年３月制定の文化財保護条例に基づき、文化財の保存と活用を審議する附属機関として教育委員会に設置された。 | |
| (3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ | |
| □変化していない<br>■変化している → 変化した内容。文化財を取り巻く環境が著しく変化している。 | |

| 3 評価（SEE） | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 目的妥当性 | (1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？<br>また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？ | □法定受託事務<br>■自治事務 | 根拠法令 | 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する | |
| | | | 根拠法令 | 文化財保護法（第１９０条）、みよし市文化財保護条例（第４条） | |
| | | | この事務を行う根拠又は理由 | 文化財の保存及び活用に関する重要事項を調査審議するため。 | |
| | (2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？ | ■結びつく<br>□結びつかない → | 理由 | | |
| | (3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？ | □できる → □拡大 / □縮小<br>■できない | 内容 | | |
| | (4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？ | □できる → □追加 / □拡充 / □絞込み<br>■できない | 内容 | | |
| 有効性 | (5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？ | ■影響が大きい<br>□多少影響がある<br>□影響はない | 理由又は内容 | | |
| | (6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？<br>※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？ | □できる<br>■できない | 理由又は内容 | 委員会は、文化財保護に関する諮問又は、重要事項が発生した場合に開催するため、予め開催回数を固定することは困難である。 | |
| | (7)類似又は関連する事業はありませんか？<br>また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？ | □ある → □庁内事業 / □庁外事業<br>■ない | 類似事業名 | | |
| | | | 類似事業との再編の可能性 | □ある<br>□ない | 内容 |
| 効率性 | (8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など) | □ある<br>■ない | 内容 | | |
| | (9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？) | □ある<br>■ない | 内容 | | |
| 公平性 | (10)受益者負担はありますか？<br>また、受益者負担割合は適正ですか？ | □ある → □現状で適正 / □検討が必要<br>□ない → □現状で適正 / □検討が必要<br>■受益者がいない | 内容 | | |

| 4 改革改善案（PLAN） | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| (1)今後の事業の方向性 | □拡大 | □改善 | ■現状維持 | □縮小 | □統合 | □廃止・休止 |
| | コストの方向性 | → 維持 | 事業費の方向性 | → 維持 | 成果の方向性 | → 維持 |
| (2)改革・改善案<br>※対象、意図、手段等の見直しなど | | | | | | |

様式1-1

# 平成27 年度（ 26 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 27 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

| 事務事業名 | No. 580303 | 有形文化財保存活動支援事業 | 主管課名 | 教育行政課 |
|---|---|---|---|---|
| この事務事業の位置 | 政策 | 誰もが健康で生きがいのある暮らし | | |
| | 施策 | 文化・芸術に親しみ、育むまち | 課長名 | 神谷　浩一 |
| | 基本事業 | 文化財の保存と活用 | | |

## (1)事業の概要

市指定有形文化財の所有者及び管理者（以下「文化財管理者」という）と協働してこれを良好な状態で保存するため、文化財管理者の活動を支援する。

(26年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)

①文化財管理者に当該文化財の保存に関わる活動経費の一部を補助する旨を通知する。
②補助金交付申請書を受理し、内容審査したのちに補助金交付決定を通知する。
③事業完了後、事業実績報告書を受理し、内容審査したのちに補助金を交付する。

27年度計画　■前年と同様　□変更あり　変更内容

## (5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標)　･･･数値は(9)

その指標

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 事業実施団体の数 | 団体 |
| ② | | |
| ③ | | |

## (2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

①市指定有形文化財
②山車２台（三好上・三好下地区）酒井家金比羅宮、石川家住宅
③市指定有形文化財の所有者又は管理者

## (6)対象指標(対象の大きさを表す指標)　･･･数値は(9)

その指標

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 市指定有形文化財の件数 | 件 |
| ② | 文化財管理者の数 | 団体 |
| ③ | | |

## (3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

①市指定有形文化財が良好な状態で保存される。
②市指定有形文化財の保存のためには文化財管理者の協力が不可欠であり、その保存活動を継続してもらう。

## (7)成果指標(意図の達成度を示す指標)　･･･数値は(9)

その指標

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 保存されている市指定有形文化財の件数 | 件 |
| ② | 保存活動を継続する文化財管理者の数 | 団体 |
| ③ | | |

## (4)結果(上位基本事業の意図)

①伝統文化を保護保存し次代に継承する。

## (8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標)　･･･数値は(9)

その指標

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 伝統文化の保存と継承が重要であると答えた人の割合 | % |
| ② | 伝統文化の保存と継承に満足と答えた人の割合 | % |
| ③ | | |

## (9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

| 指標＼年度 | | 単位 | 25年度実績値 | 26年度実績値 | 27年度計画値 | 28年度目標値 | 29年度目標値 | 30年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| (5)の活動指標 | ① | 団体 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| | ② | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | |
| (6)の対象指標 | ① | 件 | 4 | 4 | 4 | 5 | 5 | 5 |
| | ② | 団体 | 4 | 4 | 4 | 5 | 5 | 5 |
| | ③ | | | | | | | |
| (7)の成果指標 | ① | 件 | 4 | 4 | 4 | 5 | 5 | 5 |
| | ② | 団体 | 4 | 4 | 4 | 5 | 5 | 5 |
| | ③ | | | | | | | |
| (8)の結果の成果指標 | ① | % | 62 | 73 | 73 | 73 | 73 | 73 |
| | ② | % | 53 | 55 | 55 | 55 | 55 | 55 |
| | ③ | | | | | | | |

## (10)予算費目

| 会計 | 01 一般会計 | 款 | 10 | 項 | 05 | 目 | 06 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

## (11)コスト

| (11)コスト | | 年度 | 25年度実績値 | 26年度実績値 | 27年度計画値 | 28年度目標値 | 29年度目標値 | 30年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業費 (決算又は予算額) | | 単位 | 900 | 900 | 900 | 900 | 900 | 900 |
| A 財源内訳 | 国庫支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 県支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 千円 | 900 | 900 | 900 | 900 | 900 | 900 |
| 人件費B | | 千円 | 1,483 | 1,381 | 1,381 | 1,381 | 1,381 | 1,381 |
| | 正職員従事時間×人数 | 時間×人 | 200 × 2 | 200 × 2 | 200 × 2 | 200 × 2 | 200 × 2 | 200 × 2 |
| | 正職員以外の人件費 | 千円 | | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 |
| その他費用C | | 千円 | | | | | | |
| トータルコストA+B+C | | 千円 | 2,383 | 2,281 | 2,281 | 2,281 | 2,281 | 2,281 |
| 単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標) | ① | 千円/ 件 | 596 | 570 | 570 | 456 | 456 | 456 |
| | ② | 千円/ 団体 | 596 | 570 | 570 | 456 | 456 | 456 |
| | ③ | 千円/ | | | | | | |

様式1-2

| 2 環境変化と住民意見等 | 事務事業名 | No. | 580303 | 有形文化財保存活動支援事業 |
|---|---|---|---|---|

**(1)この事務事業はいつから開始したのか？**

昭和５６年度　から

**(2)この事務事業を開始したきっかけは？**

昭和５６年１０月に市内の山車３台を市指定有形民俗文化財に指定し、その維持保存のための事業として開始した。

**(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？**

□変化していない
■変化している → 変化した内容：文化財管理者の組織及び意識の変化に伴い、当該文化財の維持保存が難しくなっている。

**(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？**

当該文化財の大規模な修繕に関わる経費負担の軽減措置を求める要請が、文化財管理者から出ている。
年々、当該文化財の維持保存に関わる文化財管理者の負担が増加する傾向にある。山車の曳き回しや老朽化に伴う大規模な改修費用に対する支援が必要になる。
当該文化財の所有者及び管理者において、これを良好な状態で維持保存する取り組みを維持することが、当該文化財の保存につながるものであり、支援の停止は当該文化財の滅失につながる危険性を高めるため、現状の水準を維持する必要がある。

## 3 評価（SEE）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 目的妥当性 | (1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？<br>また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？ | □法定受託事務<br>■自治事務 | 根拠法令 | 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する |
| | | | 根拠法令 | 文化財保護法（第３条）みよし市文化財保護条例（第２４条）他 |
| | | | この事務を行う根拠又は理由 | 市指定有形文化財の所有者及び管理者の協力のもとに、これを維持保存し後世に残すための支援は、市の事務事業である。 |
| | (2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？ | ■結びつく<br>□結びつかない | 理由 | |
| | (3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？ | □できる → □拡大 / □縮小<br>■できない | 内容 | |
| | (4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？ | □できる → □追加 / □拡充 / □絞込み<br>■できない | 内容 | |
| 有効性 | (5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？ | ■影響が大きい<br>□多少影響がある<br>□影響はない | 理由又は内容 | |
| | (6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？<br>※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？ | □できる<br>■できない | 理由又は内容 | 良好な状態で維持保存する取組を継続されることが、当該文化財の保存と活用につながるものであり、現状の水準を維持する。 |
| | (7)類似又は関連する事業はありませんか？<br>また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？ | □ある → □庁内事業 / □庁外事業<br>■ない | 類似事業名 | |
| | | | 類似事業との再編の可能性 | □ある → 内容<br>□ない |
| 効率性 | (8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など) | □ある<br>■ない | 内容 | |
| | (9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？) | □ある<br>■ない | 内容 | |
| 公平性 | (10)受益者負担はありますか？<br>また、受益者負担割合は適正ですか？ | ■ある → ■現状で適正<br>□ない → □検討が必要<br>□受益者がいない | 内容 | |

## 4 改革改善案（PLAN）

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| (1)今後の事業の方向性 | □拡大 | □改善 | ■現状維持 | □縮小 | □統合 | □廃止・休止 |
| | コストの方向性 | → 維持 | 事業費の方向性 | → 維持 | 成果の方向性 | → 維持 |
| (2)改革・改善案<br>※対象、意図、手段等の見直しなど | | | | | | |

様式1-1

# 平成27 年度（ 26 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 27 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

| 事務事業名 | No. 580304 | 郷土芸能保存活動支援事業 | 主管課名 | 教育行政課 |
|---|---|---|---|---|
| この事務事業の位置 | 政策 | 誰もが健康で生きがいのある暮らし | | |
| | 施策 | 文化・芸術に親しみ、育むまち | 課長名 | 神谷　浩一 |
| | 基本事業 | 文化財の保存と活用 | | |

## (1)事業の概要

郷土芸能を保存する団体と協働して、郷土芸能を後世に伝承するため、当該団体の活動を支援する。

### (5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標)　･･･数値は(9)

その指標

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 事業実施団体の数 | 団体 |
| ② | | |
| ③ | | |

| (26年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等) | ①郷土芸能保存団体が行う郷土芸能の保存活動経費の一部を補助する旨を通知する。<br>②補助金交付申請書を受理し、内容審査したのちに補助金交付決定を通知する。<br>③事業完了後、実績報告書を受理し、内容審査したのちに補助金を交付する。 |
|---|---|
| 27年度計画 | ■前年と同様<br>□変更あり → 変更内容 |

## (2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

①郷土芸能（囃子、棒の手）
②郷土芸能保存団体

### (6)対象指標(対象の大きさを表す指標)　･･･数値は(9)

その指標

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 郷土芸能の件数 | 件 |
| ② | 郷土保存団体の数 | 団体 |
| ③ | | |

## (3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

①郷土芸能が着実に保存され後世に伝承される。
②郷土芸能の保存（伝承）のためには保存団体の協力が不可欠であり、その保存活動を継続してもらう。

### (7)成果指標(意図の達成度を示す指標)　･･･数値は(9)

その指標

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 保存（伝承）されている郷土芸能の件数 | 件 |
| ② | 保存活動を継続する郷土芸能保存団体の数 | 団体 |
| ③ | | |

## (4)結果(上位基本事業の意図)

伝統文化を保護保存し次代に継承する。

### (8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標)　･･･数値は(9)

その指標

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 伝統文化の保存と継承が重要であると答えた人の割合 | % |
| ② | 伝統文化の保存と継承に満足と答えた人の割合 | % |
| ③ | | |

## (9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

| 指標＼年度 | | 単位 | 25年度実績値 | 26年度実績値 | 27年度計画値 | 28年度目標値 | 29年度目標値 | 30年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| (5)の活動指標 | ① | 団体 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 |
| | ② | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | |
| (6)の対象指標 | ① | 件 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| | ② | 団体 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 |
| | ③ | | | | | | | |
| (7)の成果指標 | ① | 件 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| | ② | 団体 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 |
| | ③ | | | | | | | |
| (8)の結果の成果指標 | ① | % | 62 | 73 | 73 | 73 | 73 | 73 |
| | ② | % | 53 | 55 | 55 | 55 | 55 | 55 |
| | ③ | | | | | | | |

## (10)予算費目

| 会計 | 01 一般会計 | 款 | 10 | 項 | 05 | 目 | 06 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

## (11)コスト

| (11)コスト | | 年度 | 25年度実績値 | 26年度実績値 | 27年度計画値 | 28年度目標値 | 29年度目標値 | 30年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業費 (決算又は予算額) | | 単位 | 619 | 570 | 640 | 640 | 640 | 640 |
| A 財源内訳 | 国庫支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 県支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 千円 | 619 | 570 | 640 | 640 | 640 | 640 |
| 人件費B | | 千円 | 1,506 | 1,374 | 1,374 | 1,374 | 1,374 | 1,374 |
| | 正職員従事時間×人数 | 時間×人 | 200 × 2 | 200 × 2 | 200 × 2 | 200 × 2 | 200 × 2 | 200 × 2 |
| | 正職員以外の人件費 | 千円 | 23 | | | | | |
| その他費用C | | 千円 | | 85 | 85 | 85 | 85 | 85 |
| トータルコストA+B+C | | 千円 | 2,125 | 2,029 | 2,099 | 2,099 | 2,099 | 2,099 |
| 単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標) | ① | 千円/ 件 | 1,063 | 1,015 | 1,050 | 1,050 | 1,050 | 1,050 |
| | ② | 千円/ 団体 | 266 | 254 | 262 | 262 | 262 | 262 |
| | ③ | 千円/ | | | | | | |

様式1-2

| 2 環境変化と住民意見等 | 事務事業名 | No. | 580304 | 郷土芸能保存活動支援事業 |
|---|---|---|---|---|

**(1)この事務事業はいつから開始したのか？**

昭和５６年度　から

**(2)この事務事業を開始したきっかけは？**

昭和５６年１０月に市内の山車を市指定有形文化財に指定し、併せて祭囃子などの郷土芸能の伝承活動を活性化するために開始した。

**(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？**

□変化していない
■変化している → 変化した内容：保存団体の構成員の多様化により、指導者等の後継者の育成に関心が高まっている。

**(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？**

保存団体の指導者等の熱意に支えられたこの取り組みが継続されることが、文化財の保存と活用につながるものであり、現状の水準を維持する必要がある。
道具類の修繕又は更新などに要する経費が増加しており、保存伝承団体から支援策の拡大が求められている。

| 3 評価（SEE） | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 目的妥当性 | (1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？<br>また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？ | □法定受託事務<br>■自治事務 | 根拠法令 | 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する | |
| | | | 根拠法令 | 文化財保護法（第３条）みよし市文化財保護条例（第２４条）他 | |
| | | | この事務を行う根拠又は理由 | 郷土芸能の保存団体の協力のもとに保存し後世に伝え残すための支援は、市の事務事業である。 | |
| | (2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？ | ■結びつく<br>□結びつかない | 理由 | | |
| | (3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？ | □できる → □拡大 / □縮小<br>■できない | 内容 | | |
| | (4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？ | □できる → □追加 / □拡充 / □絞込み<br>■できない | 内容 | | |
| 有効性 | (5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？ | ■影響が大きい<br>□多少影響がある<br>□影響はない | 理由又は内容 | | |
| | (6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？<br>※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？ | □できる<br>■できない | 理由又は内容 | 保存団体の指導者等の熱意に支えられたこの取組が継続されることが、文化財の保存と活用につながるものである。 | |
| | (7)類似又は関連する事業はありませんか？<br>また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？ | □ある → □庁内事業 / □庁外事業<br>■ない | 類似事業名 | | |
| | | | 類似事業との再編の可能性 | □ある<br>□ない | 内容 |
| 効率性 | (8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など) | □ある<br>■ない | 内容 | | |
| | (9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？) | □ある<br>■ない | 内容 | | |
| 公平性 | (10)受益者負担はありますか？<br>また、受益者負担割合は適正ですか？ | ■ある → ■現状で適正<br>□ない → □検討が必要<br>□受益者がいない | 内容 | | |

| 4 改革改善案（PLAN） | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| (1)今後の事業の方向性 | □拡大 | □改善 | ■現状維持 | □縮小 | □統合 | □廃止・休止 |
| | コストの方向性 | → 維持 | 事業費の方向性 | → 維持 | 成果の方向性 | → 維持 |
| (2)改革・改善案<br>※対象、意図、手段等の見直しなど | | | | | | |

様式1-1

# 平成27 年度（ 26 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 27 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

| 事務事業名 | No. 580305 | 郷土芸能伝承活動発表会開催事業 | 主管課名 | 教育行政課 |
|---|---|---|---|---|
| この事務事業の位置 | 政策 | 誰もが健康で生きがいのある暮らし | | |
| | 施策 | 文化・芸術に親しみ、育むまち | 課長名 | 神谷　浩一 |
| | 基本事業 | 文化財の保存と活用 | | |

## (1)事業の概要

市民に郷土郷土芸能に対する関心を深めてもらい、郷土芸能の保存団体の活動の励みとするため、郷土伝承活動発表会を開催する。

**(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標)** ･･･数値は(9)

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 発表会開催回数 | 回 |
| ② | | |
| ③ | | |

その指標

| (26年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等) | ①開催日：平成26年9月15日（月・祝）<br>②参加団体説明会の開催（２回）<br>③参加団体との連絡調整　１１団体　囃子（７）、棒の手（１）、巫女舞（２）、太鼓（１） |
|---|---|
| 27年度計画 | ■前年と同様<br>□変更あり → 変更内容 |

## (2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

①市民
②郷土芸能関連団体

**(6)対象指標(対象の大きさを表す指標)** ･･･数値は(9)

その指標

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 人口 | 人 |
| ② | 郷土芸能関連団体の数 | 団体 |
| ③ | | |

## (3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

①市民に郷土芸能に対する関心を深めてもらう。
②郷土芸能関連団体に本発表会に参加してもらう。

**(7)成果指標(意図の達成度を示す指標)** ･･･数値は(9)

その指標

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 一般参観者の数 | 人 |
| ② | 発表会に参加した郷土芸能関連団体の数 | 団体 |
| ③ | | |

## (4)結果(上位基本事業の意図)

伝統文化を保護保存し次代に継承する。

**(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標)** ･･･数値は(9)

その指標

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 伝統文化の保存と継承が重要であると答えた人の割合 | % |
| ② | 伝統文化の保存と継承に満足と答えた人の割合 | % |
| ③ | | |

## (9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

| 指標 ＼ 年度 | | 単位 | 25年度実績値 | 26年度実績値 | 27年度計画値 | 28年度目標値 | 29年度目標値 | 30年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| (5)の活動指標 | ① | 回 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | ② | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | |
| (6)の対象指標 | ① | 人 | 59,474 | 59,474 | 59,885 | 60,800 | 61,400 | 62,000 |
| | ② | 団体 | 12 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 |
| | ③ | | | | | | | |
| (7)の成果指標 | ① | 人 | 600 | 650 | 670 | 690 | 710 | 730 |
| | ② | 団体 | 12 | 12 | 13 | 13 | 13 | 13 |
| | ③ | | | | | | | |
| (8)の結果の成果指標 | ① | % | 62 | 73 | 73 | 73 | 73 | 73 |
| | ② | % | 53 | 55 | 55 | 55 | 55 | 55 |
| | ③ | | | | | | | |

## (10)予算費目

| 会計 | 01 一般会計 | 款 | 10 | 項 | 05 | 目 | 06 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

## (11)コスト

| (11)コスト | | 年度 | 25年度実績値 | 26年度実績値 | 27年度計画値 | 28年度目標値 | 29年度目標値 | 30年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業費 (決算又は予算額) | | 単位 | 504 | 361 | 604 | 566 | 566 | 566 |
| A 財源内訳 | 国庫支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 県支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 千円 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | 一般財源 | 千円 | 504 | 361 | 603 | 565 | 565 | 565 |
| 人件費B | | 千円 | 1,669 | 1,546 | 1,546 | 1,546 | 1,546 | 1,546 |
| | 正職員従事時間×人数 | 時間×人 | 225 ×　2 | 225 ×　2 | 225 ×　2 | 225 ×　2 | 225 ×　2 | 225 ×　2 |
| | 正職員以外の人件費 | 千円 | | | | | | |
| その他費用C | | 千円 | 65 | 32 | 32 | 32 | 32 | 32 |
| トータルコストA+B+C | | 千円 | 2,238 | 1,939 | 2,182 | 2,144 | 2,144 | 2,144 |
| 単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標) | ① | 千円/　人 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | ② | 千円/ 団体 | 187 | 149 | 168 | 165 | 165 | 165 |
| | ③ | 千円/ | | | | | | |

様式1-2

| 2 環境変化と住民意見等 | 事務事業名 | No. | 580305 | 郷土芸能伝承活動発表会開催事業 |
|---|---|---|---|---|

**(1)この事務事業はいつから開始したのか？**

昭和５７年度　から

**(2)この事務事業を開始したきっかけは？**

昭和５７年４月、歴史民俗資料館の開館を記念して開始した。

**(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？**

□変化していない
■変化している → 変化した内容：勤労文化会館の開館を契機に中央公民館から会場を移した。

**(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？**

昭和５７年以来継続し開催しているこの発表会は、市民が郷土の伝統文化の一つである郷土芸能を知り、関心を深める機会となっており、現状の水準を維持する必要がある。

| 3 評価（SEE） | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 目的妥当性 | (1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？<br>また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？ | □法定受託事務<br>■自治事務 | 根拠法令 | 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する | |
| | | | 根拠法令 | 文化財保護法（第３条）みよし市文化財保護条例（第２４条）他 | |
| | | | この事務を行う根拠又は理由 | 郷土芸能の保存団体の活動の継続と市民の関心の高まりを期待するものであり、市が積極的に関与する。 | |
| | (2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？ | ■結びつく<br>□結びつかない | 理由 | | |
| | (3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？ | □できる → □拡大 / □縮小<br>■できない | 内容 | | |
| | (4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？ | □できる → □追加 / □拡充 / □絞込み<br>■できない | 内容 | | |
| 有効性 | (5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？ | ■影響が大きい<br>□多少影響がある<br>□影響はない | 理由又は内容 | | |
| | (6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？<br>※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？ | □できる<br>■できない | 理由又は内容 | 市民が郷土の伝統文化の一つである郷土芸能を知り関心を深める機会になっており、現状の水準を維持する。 | |
| | (7)類似又は関連する事業はありませんか？<br>また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？ | □ある → □庁内事業 / □庁外事業<br>■ない | 類似事業名 | | |
| | | | 類似事業との再編の可能性 | □ある<br>□ない | 内容 |
| 効率性 | (8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など) | □ある<br>■ない | 内容 | | |
| | (9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？) | □ある<br>■ない | 内容 | | |
| 公平性 | (10)受益者負担はありますか？<br>また、受益者負担割合は適正ですか？ | ■ある → ■現状で適正<br>□ない → □検討が必要<br>□受益者がいない | 内容 | | |

| 4 改革改善案（PLAN） | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| (1)今後の事業の方向性 | □拡大 | □改善 | ■現状維持 | □縮小 | □統合 | □廃止・休止 |
| | コストの方向性 | → 維持 | 事業費の方向性 | → 維持 | 成果の方向性 | → 維持 |
| (2)改革・改善案<br>※対象、意図、手段等の見直しなど | | | | | | |

様式1-1

# 平成27 年度（ 26 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 27 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

| 事務事業名 | No. 580306 | 文化財環境保全事業 | 主管課名 | 教育行政課 |
|---|---|---|---|---|
| この事務事業の位置 | 政策 | 誰もが健康で生きがいのある暮らし | | |
| | 施策 | 文化・芸術に親しみ、育むまち | 課長名 | 神谷　浩一 |
| | 基本事業 | 文化財の保存と活用 | | |

## (1)事業の概要

市指定有形文化財及び資料館収蔵資料を虫害から保護するため、山車保存庫（三好上区山車・三好下区山車）、酒井家金比羅宮、収蔵庫、資料館本館及び木造棟のくん蒸処理（消毒処理）をそれぞれ３年に１回実施する。
３年に１回の実施が適切がどうか文化財害虫調査業務を実施しその後検討する。

(26年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)
①くん蒸処理対象：酒井家金比羅宮及び収蔵庫
②実施準備：くん蒸処理業務の委託契約
③実施中：現場監理
④実施後：くん蒸処理成果の確認、完了検査

27年度計画　□前年と同様　■変更あり　変更内容　くん蒸処理対象：三好上・三好下山車及び保存庫

## (5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標)　･･･数値は(9)

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | くん蒸処理箇所／年 | 箇所 |
| ② | くん蒸業務委託関連事務 | 件 |
| ③ | 箇所あたりのくん蒸処理回数 | 回 |

その指標

## (2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

①市指定有形文化財
民俗文化財：三好上区山車、三好下区山車
建造物：酒井家金比羅宮
②資料館が収蔵する資料（以下「館蔵資料」という。）

## (6)対象指標(対象の大きさを表す指標)　･･･数値は(9)

その指標

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | くん蒸処理対象の市指定有形文化財の数 | 件 |
| ② | くん蒸処理対象の資料館収蔵資料の数 | 点 |
| ③ | | |

## (3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

①市指定有形文化財を害虫等の被害から保護し、良好な状態で保存する。
②資料館の収蔵資料を害虫等の被害から保護し、良好な状態で保存する。

## (7)成果指標(意図の達成度を示す指標)　･･･数値は(9)

その指標

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 虫害等の発生を防止できた市指定有形文化財の数 | 件 |
| ② | 虫害等の発生を防止できた館蔵資料の点数 | 点 |
| ③ | | |

## (4)結果(上位基本事業の意図)

伝統文化を保護保存し次代に継承する。

## (8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標)　･･･数値は(9)

その指標

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 伝統文化の保存と継承が重要であると答えた人の割合 | % |
| ② | 伝統文化の保存と継承に満足と答えた人の割合 | % |
| ③ | | |

## (9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

| 指標＼年度 | | 単位 | 25年度実績値 | 26年度実績値 | 27年度計画値 | 28年度目標値 | 29年度目標値 | 30年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| (5)の活動指標 | ① | 箇所 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| | ② | 件 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 |
| | ③ | 回 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| (6)の対象指標 | ① | 件 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| | ② | 点 | 28,747 | 28,816 | 28,916 | 29,016 | 29,116 | 29,216 |
| | ③ | | | | | | | |
| (7)の成果指標 | ① | 件 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| | ② | 点 | 28,747 | 28,816 | 28,916 | 29,016 | 29,116 | 29,216 |
| | ③ | | | | | | | |
| (8)の結果の成果指標 | ① | % | 62 | 73 | 73 | 73 | 73 | 73 |
| | ② | % | 53 | 55 | 55 | 55 | 55 | 55 |
| | ③ | | | | | | | |

## (10)予算費目

| 会計 | 01 一般会計 | 款 | 10 | 項 | 05 | 目 | 06 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

## (11)コスト

| (11)コスト | | 年度 | 25年度実績値 | 26年度実績値 | 27年度計画値 | 28年度目標値 | 29年度目標値 | 30年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業費 (決算又は予算額) | | 単位 | 1,276 | 3,926 | 2,502 | 1,424 | 3,950 | 2,542 |
| A 財源内訳 | 国庫支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 県支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 千円 | 1,276 | 3,926 | 2,502 | 1,424 | 3,950 | 2,542 |
| 人件費B | | 千円 | 557 | 516 | 516 | 516 | 516 | 516 |
| | 正職員従事時間×人数 | 時間×人 | 75 × 2 | 75 × 2 | 75 × 2 | 75 × 2 | 75 × 2 | 75 × 2 |
| | 正職員以外の人件費 | 千円 | | | | | | |
| その他費用C | | 千円 | 28 | 46 | 46 | 46 | 46 | 46 |
| トータルコストA+B+C | | 千円 | 1,861 | 4,488 | 3,064 | 1,986 | 4,512 | 3,104 |
| 単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標) | ① | 千円/ 件 | 620 | 1,496 | 1,021 | 662 | 1,504 | 1,035 |
| | ② | 千円/ 点 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | ③ | 千円/ | | | | | | |

様式1-2

| 2 環境変化と住民意見等 | 事務事業名 | No. | 580306 | 文化財環境保全事業 |
|---|---|---|---|---|

**(1)この事務事業はいつから開始したのか？**

昭和５６年度　から

**(2)この事務事業を開始したきっかけは？**

昭和５６年１０月、市内の山車３台を市指定有形民俗文化財として指定したことから、その維持保存のために開始した。

**(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？**

□変化していない
■変化している → 変化した内容：平成１６年度からは、使用薬剤をヴァイケーンに変更した。

**(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？**

文化財害虫調査の調査結果を踏まえて、くん蒸処理の実施ローテーションを見直す必要がある。

## 3 評価（SEE）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 目的妥当性 | (1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？<br>また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？ | □法定受託事務<br>■自治事務 | 根拠法令 | 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する |
| | | | 根拠法令 | 文化財保護法（第３条）、みよし市文化財保護条例（第１８条）他 |
| | | | この事務を行う根拠又は理由 | 市民共有の歴史的な財産である市指定文化財及び資料館収蔵資料の保存措置として、市が積極的に関与する。 |
| | (2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？ | ■結びつく<br>□結びつかない | 理由 | |
| | (3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？ | □できる → □拡大 / □縮小<br>■できない | 内容 | |
| | (4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？ | □できる → □追加 / □拡充 / □絞込み<br>■できない | 内容 | |
| 有効性 | (5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？ | ■影響が大きい<br>□多少影響がある<br>□影響はない | 理由又は内容 | |
| | (6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？<br>※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？ | □できる<br>■できない | 理由又は内容 | 市指定文化財及び資料館収蔵資料が良好な状態で維持保存されており、事業の成果が認められることから、現状の水準を維持する。 |
| | (7)類似又は関連する事業はありませんか？<br>また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？ | □ある → □庁内事業 / □庁外事業<br>■ない | 類似事業名 | |
| | | | 類似事業との再編の可能性 | □ある → 内容<br>□ない |
| 効率性 | (8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など) | ■ある<br>□ない | 内容 | ３年に１回実施する現行ローテーションを再検討する。 |
| | (9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？) | □ある<br>■ない | 内容 | |
| 公平性 | (10)受益者負担はありますか？<br>また、受益者負担割合は適正ですか？ | □ある / □ない → □現状で適正 / □検討が必要<br>■受益者がいない | 内容 | |

## 4 改革改善案（PLAN）

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| (1)今後の事業の方向性 | □拡大 | □改善 | ■現状維持 | □縮小 | □統合 | □廃止・休止 |
| | コストの方向性 | ↓　削減 | 事業費の方向性 | ↓　減額 | 成果の方向性 | →　維持 |
| (2)改革・改善案<br>※対象、意図、手段等の見直しなど | | | | | | |

様式1-1

# 平成27 年度（ 26 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 27 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

| 事務事業名 | No. 580307 | 史跡整備管理事業 | 主管課名 | 教育行政課 |
|---|---|---|---|---|
| この事務事業の位置 | 政策 | 誰もが健康で生きがいのある暮らし | | |
| | 施策 | 文化・芸術に親しみ、育むまち | 課長名 | 神谷　浩一 |
| | 基本事業 | 文化財の保存と活用 | | |

## (1)事業の概要

市指定史跡等を整備保存し一般公開するため、年３回の草刈り、雑木伐採等を実施し、史跡の環境を維持保全する。

## (5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標)　･･･数値は(9)

| | 名　　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 史跡管理が必要な区域面積 | ㎡ |
| ② | 史跡管理の実施回数 | 回 |
| ③ | | |

その指標

| (26年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等) | ①史跡用地の賃貸借及び使用貸借契約事務（福谷城跡：３年更新、黒笹２７号窯跡：５年更新）<br>②史跡管理の内容（２回／年、草刈り及び雑木処理） |
|---|---|
| 27年度計画 | ■前年と同様<br>□変更あり → 変更内容 |

## (2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

①史跡、福谷城跡（発掘による学術調査により戦国時代の山城跡として証明された。）
②史跡、黒笹27号窯跡（平安時代の猿投窯の状況を見ることができる市内で唯一の古窯遺跡）

## (6)対象指標(対象の大きさを表す指標)　･･･数値は(9)

その指標

| | 名　　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 史跡（福谷城跡）の面積 | ㎡ |
| ② | 史跡（黒笹27号窯跡）の面積 | ㎡ |
| ③ | | |

## (3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

①一般公開するために、これを継続して維持保存する。
②一般公開するために、これを継続して維持管理する。

## (7)成果指標(意図の達成度を示す指標)　･･･数値は(9)

その指標

| | 名　　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 史跡（福谷城跡）の公開面積 | ㎡ |
| ② | 史跡（黒笹27号窯跡）の公開面積 | ㎡ |
| ③ | | |

## (4)結果(上位基本事業の意図)

①伝統文化を保護保存し次代に継承する

## (8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標)　･･･数値は(9)

その指標

| | 名　　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 伝統文化の保存と継承が重要であると答えた人の割合 | % |
| ② | 伝統文化の保存と継承に満足と答えた人の割合 | % |
| ③ | | |

## (9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

| 指標 ＼ 年度 | | 単位 | 25年度実績値 | 26年度実績値 | 27年度計画値 | 28年度目標値 | 29年度目標値 | 30年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| (5)の活動指標 | ① | ㎡ | 2,939 | 2,939 | 2,939 | 2,939 | 2,939 | 2,939 |
| | ② | 回 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| | ③ | | | | | | | |
| (6)の対象指標 | ① | ㎡ | 4,133 | 4,133 | 4,133 | 4,133 | 4,133 | 4,133 |
| | ② | ㎡ | 253 | 253 | 253 | 253 | 253 | 253 |
| | ③ | | | | | | | |
| (7)の成果指標 | ① | ㎡ | 4,133 | 4,133 | 4,133 | 4,133 | 4,133 | 4,133 |
| | ② | ㎡ | 253 | 253 | 253 | 253 | 253 | 253 |
| | ③ | | | | | | | |
| (8)の結果の成果指標 | ① | % | 62 | 73 | 73 | 73 | 73 | 73 |
| | ② | % | 53 | 55 | 55 | 55 | 55 | 55 |
| | ③ | | | | | | | |

## (10)予算費目

| 会計 | 01 一般会計 | 款 | 10 | 項 | 05 | 目 | 06 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

## (11)コスト

| (11)コスト | | 年度 | 25年度実績値 | 26年度実績値 | 27年度計画値 | 28年度目標値 | 29年度目標値 | 30年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業費 (決算又は予算額) | | 単位 | 1,386 | 1,305 | 1,457 | 1,457 | 1,457 | 1,457 |
| A 財源内訳 | 国庫支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 県支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 千円 | 1,386 | 1,305 | 1,457 | 1,457 | 1,457 | 1,457 |
| 人件費B | | 千円 | 557 | 516 | 516 | 516 | 516 | 516 |
| | 正職員従事時間×人数 | 時間×人 | 50 × 3 | 50 × 3 | 50 × 3 | 50 × 3 | 50 × 3 | 50 × 3 |
| | 正職員以外の人件費 | 千円 | | | | | | |
| その他費用C | | 千円 | 0 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 |
| トータルコストA+B+C | | 千円 | 1,943 | 1,830 | 1,982 | 1,982 | 1,982 | 1,982 |
| 単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標) | ① | 千円/ ㎡ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | ② | 千円/ ㎡ | 8 | 7 | 8 | 8 | 8 | 8 |
| | ③ | 千円/ | | | | | | |

様式1-2

| 2 環境変化と住民意見等 | 事務事業名 | No. | 580307 | 史跡整備管理事業 |
|---|---|---|---|---|

**(1)この事務事業はいつから開始したのか？**

平成２年度　から

**(2)この事務事業を開始したきっかけは？**

中世期の山城跡であり、その概要が学術調査されており、貴重な史跡として残すため、当該用地を借地し維持管理を開始した。

**(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？**

■変化していない
□変化している → 変化した内容

**(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？**

みよし市の代表的な遺跡（史跡）を良好な状態で保全する取り組みを継続することが、文化財の保存と活用に結びつくものであり、現状の水準を維持する必要がある。

## 3 評価（SEE）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 目的妥当性 | (1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？<br>また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？ | □法定受託事務<br>■自治事務 | 根拠法令 | 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する |
| | | | 根拠法令 | 文化財保護法（第3条）、みよし市文化財保護条例第（第18条）他 |
| | | | この事務を行う根拠又は理由 | 市指定文化財を始め重要な文化財の保存に関わる事業として、市負担で実施する。 |
| | (2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？ | ■結びつく<br>□結びつかない | 理由 | |
| | (3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？ | □できる → □拡大 / □縮小<br>■できない | 内容 | |
| | (4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？ | □できる → □追加 / □拡充 / □絞込み<br>■できない | 内容 | |
| 有効性 | (5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？ | ■影響が大きい<br>□多少影響がある<br>□影響はない | 理由又は内容 | |
| | (6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？<br>※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？ | □できる<br>■できない | 理由又は内容 | 史跡を良好な状態で保全する取り組みを継続することこそが、文化財の保存と活用に結びつくものであり、現状の水準を維持する。 |
| | (7)類似又は関連する事業はありませんか？<br>また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？ | □ある → □庁内事業 / □庁外事業<br>■ない | 類似事業名 | |
| | | | 類似事業との再編の可能性 | □ある → 内容<br>□ない |
| 効率性 | (8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など) | □ある<br>■ない | 内容 | |
| | (9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？) | □ある<br>■ない | 内容 | |
| 公平性 | (10)受益者負担はありますか？<br>また、受益者負担割合は適正ですか？ | □ある / □ない → □現状で適正 / □検討が必要<br>■受益者がいない | 内容 | |

## 4 改革改善案（PLAN）

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| (1)今後の事業の方向性 | □拡大 | □改善 | ■現状維持 | □縮小 | □統合 | □廃止・休止 |
| | コストの方向性 | → 維持 | 事業費の方向性 | → 維持 | 成果の方向性 | → 維持 |
| (2)改革・改善案<br>※対象、意図、手段等の見直しなど | | | | | | |

様式1-1

# 平成27 年度（ 26 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 27 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

| 事務事業名 | No. 580308 | 埋蔵文化財保存事業 | 主管課名 | 教育行政課 |
|---|---|---|---|---|
| この事務事業の位置 | 政策 | 誰もが健康で生きがいのある暮らし | | |
| | 施策 | 文化・芸術に親しみ、育むまち | 課長名 | 神谷　浩一 |
| | 基本事業 | 文化財の保存と活用 | | |

## (1)事業の概要

埋蔵文化財は、土地に埋蔵された状態での現状保存が原則であるが、開発事業に伴い現状保存できない場合は、発掘調査等を実施し記録保存する。もって、埋蔵文化財の破壊と消滅を防止し、併せて埋蔵文化財の詳細を報告書として後世に残す。

**(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標)** ･･･数値は(9)

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 埋蔵文化財の有無の確認等の申請件数 | 件 |
| ② | 発掘調査した遺跡の数 | 件 |
| ③ | 出土遺物の数（保存用コンテナ数） | 箱 |

その指標

| (26年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等) | ①埋蔵文化財の有無確認及び開発計画の調整（有無の確認、結果通知、開発者との協議調整）<br>②発掘等の届出等に関わる事務（開発者との協議調整、発掘の届出等の受理、審査、県への送付）<br>③埋蔵文化財調査業務（委託契約、調査業務の監理、委託料の支払、完了確認） |
|---|---|

| 27年度計画 | ■前年と同様<br>□変更あり | 変更内容 | |
|---|---|---|---|

## (2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

①市内の埋蔵文化財（遺跡）
　※埋蔵文化財：土地に埋蔵されている文化財
②開発事業に伴い保存が必要な埋蔵文化財（遺跡）

その指標

**(6)対象指標(対象の大きさを表す指標)** ･･･数値は(9)

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 市内の遺跡の数 | 箇所 |
| ② | 開発事業地内の埋蔵文化財（遺跡） | 基 |
| ③ | | |

## (3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

①市内の遺跡を保存する。
②開発事業地内の遺跡を現状保存できない場合は、発掘調査を実施し記録保存する。
　※現状保存：地中に埋蔵された状態で保存する。

その指標

**(7)成果指標(意図の達成度を示す指標)** ･･･数値は(9)

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 現状保存又は記録保存している遺跡の数（類計） | 基 |
| ② | 発掘調査し記録保存した遺跡の数（累計） | 基 |
| ③ | | |

## (4)結果(上位基本事業の意図)

①伝統文化を保護保存し次代に継承する。

その指標

**(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標)** ･･･数値は(9)

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 伝統文化の保存と継承が重要であると答えた人の割合 | % |
| ② | 伝統文化の保存と継承に満足と答えた人の割合 | % |
| ③ | | |

## (9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

| 指標＼年度 | | 単位 | 25年度実績値 | 26年度実績値 | 27年度計画値 | 28年度目標値 | 29年度目標値 | 30年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| (5)の活動指標 | ① | 件 | 248 | 278 | 280 | 280 | 280 | 280 |
| | ② | 件 | 10 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 |
| | ③ | 箱 | 9 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 |
| (6)の対象指標 | ① | 箇所 | 185 | 185 | 185 | 185 | 185 | 185 |
| | ② | 基 | 2 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | ③ | | | | | | | |
| (7)の成果指標 | ① | 基 | 185 | 185 | 185 | 185 | 185 | 185 |
| | ② | 基 | 81 | 92 | 92 | 92 | 92 | 92 |
| | ③ | | | | | | | |
| (8)の結果の成果指標 | ① | % | 62 | 73 | 73 | 73 | 73 | 73 |
| | ② | % | 53 | 55 | 55 | 55 | 55 | 55 |
| | ③ | | | | | | | |

| (10)予算費目 | 会計 | 01 一般会計 | 款 | 10 | 項 | 05 | 目 | 06 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

| (11)コスト | | 年度 | 25年度実績値 | 26年度実績値 | 27年度計画値 | 28年度目標値 | 29年度目標値 | 30年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業費 (決算又は予算額) | | 単位 | 1,997 | 2,054 | 2,008 | 4,060 | 4,060 | 4,060 |
| A 財源内訳 | 国庫支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 2,000 | 2,000 | 2,000 |
| | 県支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 千円 | 1,997 | 2,054 | 2,008 | 2,060 | 2,060 | 2,060 |
| 人件費B | | 千円 | 11,895 | 11,124 | 12,415 | 12,415 | 12,415 | 12,415 |
| | 正職員従事時間×人数 | 時間×人 | 706 × 4 | 706 × 4 | 800 × 4 | 800 × 4 | 800 × 4 | 800 × 4 |
| | 正職員以外の人件費 | 千円 | 1,426 | 1,426 | 1,426 | 1,426 | 1,426 | 1,426 |
| その他費用C | | 千円 | 768 | 231 | 231 | 231 | 231 | 231 |
| トータルコストA+B+C | | 千円 | 14,660 | 13,409 | 14,654 | 16,706 | 16,706 | 16,706 |
| 単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標) | ① | 千円/ 箇所 | 79 | 72 | 79 | 90 | 90 | 90 |
| | ② | 千円/ 基 | 7,330 | | 14,654 | 16,706 | 16,706 | 16,706 |
| | ③ | 千円/ | | | | | | |

様式1-2

| 2 環境変化と住民意見等 | 事務事業名 | No. | 580308 | 埋蔵文化財保存事業 |
|---|---|---|---|---|

**(1)この事務事業はいつから開始したのか？**

昭和53年度　から

**(2)この事務事業を開始したきっかけは？**

昭和53年に中部電力変電所用地内の埋蔵文化財の発掘調査が行なわれ、以来、埋蔵文化財の保存に関わる事務事業として開始された。

**(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？**

□変化していない
■変化している → 変化した内容：記録保存事業が増大している。

**(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？**

従来、国及び県等が行う開発事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査が主体であったが、今後は民間事業者の開発等に伴う発掘調査が見込まれる。
小規模な開発事業（個人が行う専用住宅等建設など）地内の埋蔵文化財の記録保存のための諸調査の取り組みは、埋蔵文化財の破壊と消滅を防止することに結びつくものである。

| 3 評価（SEE） | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 目的妥当性 | (1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？<br>また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？ | □法定受託事務<br>■自治事務 | 根拠法令 | 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する | |
| | | | 根拠法令 | 文化財保護法（第99条） | |
| | | | この事務を行う根拠又は理由 | 文化財保護法、愛知県教育委員会事務処理特例条例に基づき市の役割と事務の範囲が定められている。 | |
| | (2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？ | ■結びつく<br>□結びつかない | 理由 | | |
| | (3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？ | □できる → □拡大 / □縮小<br>■できない | 内容 | | |
| | (4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？ | □できる → □追加 / □拡充 / □絞込み<br>■できない | 内容 | | |
| 有効性 | (5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？ | ■影響が大きい<br>□多少影響がある<br>□影響はない | 理由又は内容 | | |
| | (6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？<br>※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？ | □できる<br>■できない | 理由又は内容 | 開発事業に伴い発掘調査し記録保存が必要な場合は、開発事業者と協議調整して進めており、現状の水準を維持する。 | |
| | (7)類似又は関連する事業はありませんか？<br>また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？ | □ある → □庁内事業 / □庁外事業<br>■ない | 類似事業名 | | |
| | | | 類似事業との再編の可能性 | □ある → 内容<br>□ない | |
| 効率性 | (8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など) | □ある<br>■ない | 内容 | | |
| | (9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？) | □ある<br>■ない | 内容 | | |
| 公平性 | (10)受益者負担はありますか？<br>また、受益者負担割合は適正ですか？ | ■ある → ■現状で適正<br>□ない → □検討が必要<br>□受益者がいない | 内容 | | |

| 4 改革改善案（PLAN） | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| (1)今後の事業の方向性 | □拡大 | □改善 | ■現状維持 | □縮小 | □統合 | □廃止・休止 |
| | コストの方向性 | ↑　増加 | 事業費の方向性 | ↑　増額 | 成果の方向性 | →　維持 |
| (2)改革・改善案<br>※対象、意図、手段等の見直しなど | | | | | | |

様式1-1

# 平成27 年度（ 26 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 27 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

| 事務事業名 | No. 580310 | 文化財資料購入事業 | 主管課名 | 教育行政課 |
|---|---|---|---|---|
| この事務事業の位置 | 政策 | 誰もが健康で生きがいのある暮らし | | |
| | 施策 | 文化・芸術に親しみ、育むまち | 課長名 | 神谷　浩一 |
| | 基本事業 | 文化財の保存と活用 | | |

## (1)事業の概要

郷土の歴史と文化に関わりの深い文化財資料を購入し、その散逸と消滅を防止する。併せて、資料館の収蔵資料を拡充しながら、これを展示会等を通して一般に公開する。

**(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標)** ･･･数値は(9)

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 評価、諮問等の審査手続き資料の作成件数 | 点 |
| ② | 文化財資料の購入手続き点数 | 点 |
| ③ | | |

その指標

**(26年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)**

①文化財資料に関わる情報収集と調査検討を行なう。②購入予定の文化財資料の調書を作成し、文化財保護委員会へ諮問する。③同委員会で審議され、その答申をうけて後に購入手続きを行なう。④文化財資料台帳へ記録し、資料館館蔵資料として保管管理する。

**27年度計画**　■前年と同様　□変更あり　変更内容

## (2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

①市にゆかりのある収蔵した文化財資料
②市にゆかりのある購入した文化財資料

**(6)対象指標(対象の大きさを表す指標)** ･･･数値は(9)

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 市にゆかりのある収蔵した文化財資料の数 | 点 |
| ② | 文化財資料の購入点数 | 点 |
| ③ | | |

## (3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

①文化財資料として購入し、その散逸と消滅を防止する。
②展示・研究等に利用する。

**(7)成果指標(意図の達成度を示す指標)** ･･･数値は(9)

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 文化財資料の購入点数（累計） | 点 |
| ② | 展示・研究等に利用した購入文化財資料の点数 | 点 |
| ③ | | |

## (4)結果(上位基本事業の意図)

①伝統文化を保護保存し次代に継承する

**(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標)** ･･･数値は(9)

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 伝統文化の保存と継承が重要であると答えた人の割合 | % |
| ② | 伝統文化の保存と継承に満足と答えた人の割合 | % |
| ③ | | |

## (9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

| 指標＼年度 | | 単位 | 25年度実績値 | 26年度実績値 | 27年度計画値 | 28年度目標値 | 29年度目標値 | 30年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| (5)の活動指標 | ① | 点 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | ② | 点 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | ③ | | | | | | | |
| (6)の対象指標 | ① | 点 | 28,747 | 28,816 | 28,916 | 29,016 | 29,116 | 29,216 |
| | ② | 点 | 1 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| | ③ | | | | | | | |
| (7)の成果指標 | ① | 点 | 111 | 111 | 112 | 113 | 114 | 115 |
| | ② | 点 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 |
| | ③ | | | | | | | |
| (8)の結果の成果指標 | ① | % | 62 | 73 | 73 | 73 | 73 | 73 |
| | ② | % | 53 | 55 | 55 | 55 | 55 | 55 |
| | ③ | | | | | | | |

**(10)予算費目**　会計　01 一般会計　款 10　項 05　目 07

| (11)コスト | | 年度 | 25年度実績値 | 26年度実績値 | 27年度計画値 | 28年度目標値 | 29年度目標値 | 30年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業費 (決算又は予算額) | | 単位 | 70 | 0 | 317 | 317 | 317 | 317 |
| A 財源内訳 | 国庫支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 県支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 千円 | 70 | 0 | 317 | 317 | 317 | 317 |
| 人件費B | | 千円 | 93 | 86 | 86 | 86 | 86 | 86 |
| | 正職員従事時間×人数 | 時間×人 | 25 × 1 | 25 × 1 | 25 × 1 | 25 × 1 | 25 × 1 | 25 × 1 |
| | 正職員以外の人件費 | 千円 | | | | | | |
| その他費用C | | 千円 | | | | | | |
| トータルコストA+B+C | | 千円 | 163 | 86 | 403 | 403 | 403 | 403 |
| 単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標) | ① | 千円/　点 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | ② | 千円/　点 | 163 | 43 | 202 | 202 | 202 | 202 |
| | ③ | 千円/ | | | | | | |

様式1-2

| 2 環境変化と住民意見等 | 事務事業名 | No. | 580310 | 文化財資料購入事業 |
|---|---|---|---|---|

**(1)この事務事業はいつから開始したのか？**

昭和57年度　から

**(2)この事務事業を開始したきっかけは？**

昭和57年の資料館の開館を契機に郷土出身の画家の伊豆原麻谷の作品を主体に文化財資料の収集を開始している。

**(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？**

□変化していない
■変化している → 変化した内容：世代交代、社会事情の変化に伴い文化財、伝統文化への関心が鈍化している。

**(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？**

文化財保護委員の意見としても特に価格の高い伊豆原麻谷の優品を収蔵すべきと指摘されている。みよし市に関わりのある文化財資料がいつ世に出てくるのか分からないため、予め備えておく必要がある。
また、みよし市にゆかりのある文化財の散逸を防止し、資料館が収蔵する文化財（資料）を拡充するため、継続的な購入が必要である。

## 3 評価（SEE）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 目的妥当性 | (1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？<br>また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？ | □法定受託事務<br>■自治事務 | 根拠法令 | 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する |
| | | | 根拠法令 | 文化財保護法（第3条）、みよし市文化財保護条例（18条）他 |
| | | | この事務を行う根拠又は理由 | 博物館類似施設の資料館として、郷土にゆかりの深い文化財資料を収集しその散逸と消滅を防止する。 |
| | (2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？ | ■結びつく<br>□結びつかない | 理由 | |
| | (3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？ | □できる → □拡大 / □縮小<br>■できない | 内容 | |
| | (4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？ | □できる → □追加 / □拡充 / □絞込み<br>■できない | 内容 | |
| 有効性 | (5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？ | ■影響が大きい<br>□多少影響がある<br>□影響はない | 理由又は内容 | |
| | (6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？<br>※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？ | □できる<br>■できない | 理由又は内容 | みよし市ゆかりのある文化財資料の購入にあたり、厳選して購入手続きを進めており、現状の水準を維持する。 |
| | (7)類似又は関連する事業はありませんか？<br>また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？ | □ある → □庁内事業 / □庁外事業<br>■ない | 類似事業名 | |
| | | | 類似事業との再編の可能性 | □ある → 内容<br>□ない |
| 効率性 | (8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など) | □ある<br>■ない | 内容 | |
| | (9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？) | □ある<br>■ない | 内容 | |
| 公平性 | (10)受益者負担はありますか？<br>また、受益者負担割合は適正ですか？ | □ある / □ない → □現状で適正 / □検討が必要<br>■受益者がいない | 内容 | |

## 4 改革改善案（PLAN）

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| (1)今後の事業の方向性 | □拡大 | □改善 | ■現状維持 | □縮小 | □統合 | □廃止・休止 |
| | コストの方向性 | → 維持 | 事業費の方向性 | → 維持 | 成果の方向性 | → 維持 |
| (2)改革・改善案<br>※対象、意図、手段等の見直しなど | | | | | | |

様式1-1

# 平成27 年度（ 26 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 27 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

| 事務事業名 | No. 580311 | 資料館施設管理事業 | 主管課名 | 教育行政課 |
|---|---|---|---|---|
| この事務事業の位置 | 政策 | 誰もが健康で生きがいのある暮らし | | |
| | 施策 | 文化・芸術に親しみ、育むまち | 課長名 | 神谷　浩一 |
| | 基本事業 | 文化財の保存と活用 | | |

## (1)事業の概要

来館者の利便向上と館蔵資料の保護保全、適正な施設管理を図るため、老朽化した施設の整備・機器を整備充実する。

(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標)　･･･数値は(9)

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 設備機器保守点検及び管理に関わる業務件数 | 件 |
| ② | 開館日数 | 日 |
| ③ | | |

その指標

(26年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)

①施設設備機器保守点検に関わる業務・・・・4業務（委託契約、業務監理、委託料支払い、完了確認）
②施設管理に関わる業務・・・・5業務（委託契約、修繕工事、業務監理、委託料支払い、完了確認）

27年度計画　■前年と同様　□変更あり　変更内容

## (2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

①資料館（本館・木造棟・収蔵庫・石川家住宅）
②市民

(6)対象指標(対象の大きさを表す指標)　･･･数値は(9)

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 資料館の面積 | ㎡ |
| ② | 人口 | 人 |
| ③ | | |

## (3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

①展示会等を見学するために住民の皆さんに来館してもらう。

(7)成果指標(意図の達成度を示す指標)　･･･数値は(9)

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 入館者数 | 人 |
| ② | | |
| ③ | | |

## (4)結果(上位基本事業の意図)

①伝統文化を保護保存し次代に継承する。

(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標)　･･･数値は(9)

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 伝統文化の保存と継承が重要であると答えた人の割合 | % |
| ② | 伝統文化の保存と継承に満足と答えた人の割合 | % |
| ③ | | |

## (9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

| 指標＼年度 | | 単位 | 25年度実績値 | 26年度実績値 | 27年度計画値 | 28年度目標値 | 29年度目標値 | 30年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| (5)の活動指標 | ① | 件 | 10 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 |
| | ② | 日 | 305 | 303 | 303 | 303 | 303 | 303 |
| | ③ | | | | | | | |
| (6)の対象指標 | ① | ㎡ | 1,824 | 1,824 | 1,824 | 1,824 | 1,824 | 1,824 |
| | ② | 人 | 59,474 | 59,474 | 59,885 | 60,800 | 61,400 | 62,000 |
| | ③ | | | | | | | |
| (7)の成果指標 | ① | 人 | 5,019 | 5,408 | 5,500 | 5,600 | 5,700 | 5,800 |
| | ② | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | |
| (8)の結果の成果指標 | ① | % | 62 | 73 | 73 | 73 | 73 | 73 |
| | ② | % | 53 | 55 | 55 | 55 | 55 | 55 |
| | ③ | | | | | | | |

## (10)予算費目

| 会計 | 01 一般会計 | 款 | 10 | 項 | 05 | 目 | 07 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

## (11)コスト

| | | 年度 | 25年度実績値 | 26年度実績値 | 27年度計画値 | 28年度目標値 | 29年度目標値 | 30年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業費 (決算又は予算額) | | 単位 | 5,630 | 5,993 | 11,904 | 7,183 | 6,468 | 6,468 |
| A 財源内訳 | 国庫支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 県支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 千円 | 2 | 5 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| | 一般財源 | 千円 | 5,628 | 5,988 | 11,902 | 7,181 | 6,466 | 6,466 |
| 人件費B | | 千円 | 4,827 | 4,880 | 4,880 | 4,880 | 4,880 | 4,880 |
| | 正職員従事時間×人数 | 時間×人 | 217 × 6 | 217 × 6 | 217 × 6 | 217 × 6 | 217 × 6 | 217 × 6 |
| | 正職員以外の人件費 | 千円 | | 408 | 408 | 408 | 408 | 408 |
| その他費用C | | 千円 | 214 | 274 | 274 | 274 | 274 | 274 |
| トータルコストA+B+C | | 千円 | 10,671 | 11,147 | 17,058 | 12,337 | 11,622 | 11,622 |
| 単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標) | ① | 千円/ ㎡ | 6 | 6 | 9 | 7 | 6 | 6 |
| | ② | 千円/ 人 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | ③ | 千円/ | | | | | | |

様式1-2

| 2 環境変化と住民意見等 | 事務事業名 | No. | 580311 | 資料館施設管理事業 |
|---|---|---|---|---|

**(1)この事務事業はいつから開始したのか？**

昭和５７年度　から

**(2)この事務事業を開始したきっかけは？**

昭和57年4月、資料館の開館とともに開始した。

**(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？**

□変化していない
■変化している → 変化した内容：開館以来、館内外の大規模な改修をしていないため、老朽化が進行している。

**(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？**

資料館は昭和５７年１１月に開館し３３年が経過しており、施設設備の老朽化が進み、利用者の利便向上を図るため、適宜設備機器の補修と拡充を継続し、施設環境の維持保全を行っている。資料館の適正な維持管理を図る必要がある。
資料館利用者から資料館の位置が分かりにくいという苦情が多く寄せられているため、道路看板等の設置要望が出されている。

## 3 評価（SEE）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 目的妥当性 | (1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？<br>また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？ | □法定受託事務<br>■自治事務 | 根拠法令 | 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する |
| | | | 根拠法令 | 文化財保護法、みよし市立歴史民俗資料館設置条例 |
| | | | この事務を行う根拠又は理由 | 博物館法に基づく公立博物館の類似施設として、その維持管理は設置者の市の負担で行う。 |
| | (2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？ | ■結びつく<br>□結びつかない | 理由 | |
| | (3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？ | □できる → □拡大 / □縮小<br>■できない | 内容 | |
| | (4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？ | □できる → □追加 / □拡充 / □絞込み<br>■できない | 内容 | |
| 有効性 | (5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？ | ■影響が大きい<br>□多少影響がある<br>□影響はない | 理由又は内容 | |
| | (6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？<br>※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？ | ■できる<br>□できない | 理由又は内容 | 市役所周辺の社会教育施設を統合すれば、利用者の利便がよくなり、入館者の増になる。 |
| | (7)類似又は関連する事業はありませんか？<br>また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？ | □ある → □庁内事業 / □庁外事業<br>■ない | 類似事業名 | |
| | | | 類似事業との再編の可能性 | □ある → 内容<br>□ない |
| 効率性 | (8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など) | ■ある<br>□ない | 内容 | 市役所周辺の社会教育施設を統合すれば、維持管理費の削減ができる。 |
| | (9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？) | ■ある<br>□ない | 内容 | 市役所周辺の社会教育施設を統合すれば、維持管理業務をまとめることができ、人件費の削減につながる。 |
| 公平性 | (10)受益者負担はありますか？<br>また、受益者負担割合は適正ですか？ | □ある / ■ない → ■現状で適正 / □検討が必要<br>□受益者がいない | 内容 | |

## 4 改革改善案（PLAN）

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| (1)今後の事業の方向性 | □拡大 | □改善 | ■現状維持 | □縮小 | □統合 | □廃止・休止 |
| | コストの方向性 | ↓　削減 | 事業費の方向性 | ↓　減額 | 成果の方向性 | →　維持 |
| (2)改革・改善案<br>※対象、意図、手段等の見直しなど | | | | | | |

様式1-1

# 平成27 年度（ 26 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 27 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

| 事務事業名 | No. 580312 | 資料館展示事業 | 主管課名 | 教育行政課 |
|---|---|---|---|---|
| この事務事業の位置 | 政策 | 誰もが健康で生きがいのある暮らし | | |
| | 施策 | 文化・芸術に親しみ、育むまち | 課長名 | 神谷　浩一 |
| | 基本事業 | 文化財の保存と活用 | | |

## (1)事業の概要

広く市民に市の歴史や文化を深めてもらうため、常設展示に加えて、開館以来、寄贈、寄託及び購入により収集した資料館の収蔵資料及び他機関の所蔵資料等を活用して、特別展及び企画展を開催する。

(26年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)　①展示企画設営に関わる業務委託事務、展示資料調査と出展資料のとりまとめ　②展示会（企画展、特別展）年4回開催　春季企画展「覗いてみよう！石器の世界～稲垣輝行氏寄贈資料から～」（5／3～6/30）　夏季企画展「日本のチョウとクワガタアムシ」（7/20～9/16）　秋季特別展「誕生160年記念　みよしの　”イ”人　酒井利泰」（10/12～12/8）　冬季企画展「第32回ひな人形展」（1/25～3/23）

27年度計画　□前年と同様　■変更あり　変更内容　展示会の内容は、毎回変更している。

### (5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標)　･･･数値は(9)

その指標

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 展示会の開催回数 | 回 |
| ② | 展示会の開催日数 | 日 |
| ③ | | |

### (2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

①市民

### (6)対象指標(対象の大きさを表す指標)　･･･数値は(9)

その指標

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 人口 | 人 |
| ② | | |
| ③ | | |

### (3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

①市民に学習の機会を提供し、郷土の歴史、伝統、文化に関心を深めてもらう。

### (7)成果指標(意図の達成度を示す指標)　･･･数値は(9)

その指標

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 展示会の開催期間中の入館者数 | 人 |
| ② | 展示会の展示資料数 | 点 |
| ③ | | |

### (4)結果(上位基本事業の意図)

①伝統文化を保護保存し次代に継承する。

### (8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標)　･･･数値は(9)

その指標

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 伝統文化の保存と継承が重要であると答えた人の割合 | % |
| ② | 伝統文化の保存と継承に満足と答えた人の割合 | % |
| ③ | | |

## (9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

| 指標＼年度 | | 単位 | 25年度実績値 | 26年度実績値 | 27年度計画値 | 28年度目標値 | 29年度目標値 | 30年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| (5)の活動指標 | ① | 回 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| | ② | 日 | 202 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 |
| | ③ | | | | | | | |
| (6)の対象指標 | ① | 人 | 59,474 | 59,474 | 59,885 | 60,800 | 61,400 | 62,000 |
| | ② | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | |
| (7)の成果指標 | ① | 人 | 4,501 | 5,075 | 5,100 | 5,200 | 5,300 | 5,400 |
| | ② | 点 | 1,000 | 1,000 | 1,000 | 1,000 | 1,000 | 1,000 |
| | ③ | | | | | | | |
| (8)の結果の成果指標 | ① | % | 62 | 73 | 73 | 73 | 73 | 73 |
| | ② | % | 53 | 55 | 55 | 55 | 55 | 55 |
| | ③ | | | | | | | |

## (10)予算費目

| 会計 | 01 一般会計 | 款 | 10 | 項 | 05 | 目 | 07 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

## (11)コスト

| | | 年度 | 25年度実績値 | 26年度実績値 | 27年度計画値 | 28年度目標値 | 29年度目標値 | 30年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業費 (決算又は予算額) | | 単位 | 4,384 | 3,934 | 6,890 | 36,070 | 5,747 | 5,547 |
| A 財源内訳 | 国庫支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 県支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 千円 | 323 | 224 | 165 | 165 | 200 | 200 |
| | 一般財源 | 千円 | 4,061 | 3,710 | 6,725 | 35,905 | 5,547 | 5,347 |
| 人件費B | | 千円 | 8,252 | 7,645 | 7,645 | 7,645 | 7,645 | 7,645 |
| | 正職員従事時間×人数 | 時間×人 | 371 × 6 | 371 × 6 | 371 × 6 | 371 × 6 | 371 × 6 | 371 × 6 |
| | 正職員以外の人件費 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他費用C | | 千円 | 1,176 | 509 | 509 | 509 | 509 | 509 |
| トータルコストA+B+C | | 千円 | 13,812 | 12,088 | 15,044 | 44,224 | 13,901 | 13,701 |
| 単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標) | ① | 千円/　人 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| | ② | 千円/ | | | | | | |
| | ③ | 千円/ | | | | | | |

様式1-2

| 2 環境変化と住民意見等 | 事務事業名 | No. | 580312 | 資料館展示事業 |
|---|---|---|---|---|

**(1)この事務事業はいつから開始したのか？**

昭和57年度　から

**(2)この事務事業を開始したきっかけは？**

昭和57年4月、資料館の開館を契機に開始しており、当時から収集された歴史、民俗等に関わる各種資料を展示紹介した。

**(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？**

□変化していない
■変化している → 変化した内容：開館以来、館内の内外装の改修をしていないため、老朽化が進行している。

**(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？**

郷土を知り、郷土を愛する心を培う機会を提供するため、展示事業を継続して実施する必要がある。
資料館の位置がわかりにくい、また、エレベータがないために足の不自由なお年寄り等は、２階で開催している企画展・特別展を見ることができないので、エレベータの設置の要望がある。

## 3 評価（SEE）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 目的妥当性 | (1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？<br>また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？ | □法定受託事務<br>■自治事務 | 根拠法令<br>法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する<br>根拠法令：文化財保護法、みよし市立民俗資料館設置条例<br>この事務を行う根拠又は理由：みよし市の伝統文化を広く紹介し、理解を深めてもらう機会を提供することは、資料館の重要な業務である。 | |
| 目的妥当性 | (2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？ | ■結びつく<br>□結びつかない | 理由 | |
| 目的妥当性 | (3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？ | □できる → □拡大 / □縮小<br>■できない | 内容 | |
| 目的妥当性 | (4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？ | □できる → □追加 / □拡充 / □絞込み<br>■できない | 内容 | |
| 有効性 | (5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？ | ■影響が大きい<br>□多少影響がある<br>□影響はない | 理由又は内容 | |
| 有効性 | (6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？<br>※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？ | ■できる<br>□できない | 理由又は内容 | ポスター・チラシ配布等広報活動を検討する。 |
| 有効性 | (7)類似又は関連する事業はありませんか？<br>また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？ | □ある → □庁内事業 / □庁外事業<br>■ない | 類似事業名<br>類似事業との再編の可能性：□ある / □ない → 内容 | |
| 効率性 | (8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など) | □ある<br>■ない | 内容 | |
| 効率性 | (9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？) | □ある<br>■ない | 内容 | |
| 公平性 | (10)受益者負担はありますか？<br>また、受益者負担割合は適正ですか？ | □ある / ■ない → ■現状で適正 / □検討が必要<br>□受益者がいない | 内容 | |

## 4 改革改善案（PLAN）

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| (1)今後の事業の方向性 | □拡大 | □改善 | ■現状維持 | □縮小 | □統合 | □廃止・休止 |
| | コストの方向性 | ↑　増加 | 事業費の方向性 | ↑　増額 | 成果の方向性 | ↑　向上 |
| (2)改革・改善案<br>※対象、意図、手段等の見直しなど | | | | | | |

様式1-1

# 平成27 年度（ 26 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 27 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

| 事務事業名 | No. 580313 | 資料館資料整理事業 | 主管課名 | 教育行政課 |
|---|---|---|---|---|
| この事務事業の位置 | 政策 | 誰もが健康で生きがいのある暮らし | | |
| | 施策 | 文化・芸術に親しみ、育むまち | 課長名 | 神谷　浩一 |
| | 基本事業 | 文化財の保存と活用 | | |

## (1)事業の概要

◯未整理の古文書群、猿投窯出土遺物群等の整理を行い、町誌編さん、新たな郷土の歴史の調査研究、資料館展示事業等に活用する。

①対象資料　黒笹村、高嶺文書など未整理の古文書群約５万点、猿投窯黒笹地区出土遺物群他（コンテナ約１，４７０箱）

②整理内容
整理確認・目録化（データ入力）・マイクロフィルム撮影

### (5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標)　･･･数値は(9)

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 古文書の整理件数 | 件 |
| ② | 遺物コンテナ及び民俗資料の整理件数 | 件 |
| ③ | マイクロフィルム撮影本数 | 本 |

その指標

| (26年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等) | ◯古文書等整理、古文書マイクロフィルム撮影業務・埋蔵文化財整理業務委託・緊急雇用創出事業（古文書等資料データベース作成業務委託・絵図面等資料撮影業務委託）（5業務）<br>①設計書作成、委託契約、業務の施行監理　②出来高検査、委託料の支払い　③業務成果品の保存管理 |
|---|---|
| 27年度計画 | ■前年と同様<br>□変更あり → 変更内容 |

## (2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

①資料館で収蔵する古文書
②資料館で収蔵する出土遺物及び民俗資料
③資料の状態が著しく悪い古文書等の収蔵資料

### (6)対象指標(対象の大きさを表す指標)　･･･数値は(9)

その指標

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 古文書の数 | 点 |
| ② | 遺物コンテナ及び民俗資料の数 | 点 |
| ③ | データ化が必要な収蔵資料の数 | 点 |

## (3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

①古文書等を選別し目録及び台帳を整理する。
②出土遺物及び民俗資料を選別し目録及び台帳を整理する。
③データ化し保管管理する。

### (7)成果指標(意図の達成度を示す指標)　･･･数値は(9)

その指標

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 整理し把握した市内所在古文書数（累計） | 点 |
| ② | 整理した遺物コンテナ、民俗資料の数（累計） | 点 |
| ③ | データ化した古文書等の数（累計） | 点 |

## (4)結果(上位基本事業の意図)

①伝統文化を保護保存し次代に継承する。

### (8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標)　･･･数値は(9)

その指標

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 伝統文化の保存と継承が重要であると答えた人の割合 | % |
| ② | 伝統文化の保存と継承に満足と答えた人の割合 | % |
| ③ | | |

## (9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

| 指標 ＼ 年度 | | 単位 | 25年度実績値 | 26年度実績値 | 27年度計画値 | 28年度目標値 | 29年度目標値 | 30年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| (5)の活動指標 | ① | 件 | 300 | 200 | 100 | 100 | 100 | 100 |
| | ② | 件 | 23 | 90 | 100 | 100 | 100 | 100 |
| | ③ | 本 | 15 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 |
| (6)の対象指標 | ① | 点 | 87,000 | 87,000 | 87,000 | 87,000 | 87,000 | 87,000 |
| | ② | 点 | 6,405 | 6,484 | 6,584 | 6,684 | 6,784 | 6,884 |
| | ③ | 点 | 48,193 | 47,693 | 47,193 | 46,693 | 46,193 | |
| (7)の成果指標 | ① | 点 | 32,530 | 32,720 | 32,820 | 32,920 | 33,020 | 33,120 |
| | ② | 点 | 6,218 | 6,297 | 6,397 | 6,497 | 6,597 | 6,697 |
| | ③ | 点 | 38,607 | 38,807 | 38,907 | 39,007 | 39,107 | 39,207 |
| (8)の結果の成果指標 | ① | % | 62 | 73 | 73 | 73 | 73 | 73 |
| | ② | % | 53 | 55 | 55 | 55 | 55 | 55 |
| | ③ | | | | | | | |

## (10)予算費目

| 会計 | 01 一般会計 | 款 | 10 | 項 | 05 | 目 | 07 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

## (11)コスト

| (11)コスト | | 年度 | 25年度実績値 | 26年度実績値 | 27年度計画値 | 28年度目標値 | 29年度目標値 | 30年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業費 (決算又は予算額) | | 単位 | 5,383 | 5,627 | 6,781 | 8,313 | 7,532 | 10,293 |
| A 財源内訳 | 国庫支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 県支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 千円 | 5,383 | 5,627 | 6,781 | 8,313 | 7,532 | 10,293 |
| 人件費B | | 千円 | 3,761 | 3,509 | 3,509 | 3,509 | 3,509 | 3,509 |
| | 正職員従事時間×人数 | 時間×人 | 150 × 4 | 150 × 4 | 150 × 4 | 150 × 4 | 150 × 4 | 150 × 4 |
| | 正職員以外の人件費 | 千円 | 1,536 | 1,448 | 1,448 | 1,448 | 1,448 | 1,448 |
| その他費用C | | 千円 | 337 | 124 | 124 | 124 | 124 | 124 |
| トータルコストA+B+C | | 千円 | 9,481 | 9,260 | 10,414 | 11,946 | 11,165 | 13,926 |
| 単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標) | ① | 千円/　点 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | ② | 千円/　点 | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| | ③ | 千円/　点 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |

様式1-2

| 2 環境変化と住民意見等 | 事務事業名 | No. | 580313 | 資料館資料整理事業 |
|---|---|---|---|---|

**(1)この事務事業はいつから開始したのか？**

平成14年度　から

**(2)この事務事業を開始したきっかけは？**

寄託又は寄贈された古文書等の資料は、袋詰めにされた状態で保管管理していたが、新編三好町誌編さんに活用するため開始した。

**(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？**

■変化していない
□変化している → 変化した内容

**(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？**

未整理状態にある古文書及び遺物は、小中学校の教材、新たな郷土の歴史に関わる調査、研究、資料館展示事業に活用することができない。他の博物館からの借用依頼や資料館調査に対応できないため、事業の継続が必要である。

## 3 評価（SEE）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 目的妥当性 | (1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？<br>また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？ | □法定受託事務<br>■自治事務 | 根拠法令 | 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する |
| | | | 根拠法令 | 文化財保護法、みよし市立民俗資料館設置条例 |
| | | | この事務を行う根拠又は理由 | 寄贈資料、寄託資料及び購入資料は、市民共有の歴史的な財産であり、これらの整理と活用は、資料館の役割である。 |
| | (2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？ | ■結びつく<br>□結びつかない | 理由 | |
| | (3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？ | □できる → □拡大 / □縮小<br>■できない | 内容 | |
| | (4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？ | □できる → □追加 / □拡充 / □絞込み<br>■できない | 内容 | |
| 有効性 | (5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？ | ■影響が大きい<br>□多少影響がある<br>□影響はない | 理由又は内容 | |
| | (6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？<br>※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？ | ■できる<br>□できない | 理由又は内容 | 資料館の収蔵資料を整理保存する事業であり、専門業者への業務委託、職員の増員により可能な限り事業の遂行を早める。 |
| | (7)類似又は関連する事業はありませんか？<br>また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？ | □ある → □庁内事業 / □庁外事業<br>■ない | 類似事業名 | |
| | | | 類似事業との再編の可能性 | □ある → 内容<br>□ない |
| 効率性 | (8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など) | □ある<br>■ない | 内容 | |
| | (9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？) | □ある<br>■ない | 内容 | |
| 公平性 | (10)受益者負担はありますか？<br>また、受益者負担割合は適正ですか？ | □ある / □ない → □現状で適正 / □検討が必要<br>■受益者がいない | 内容 | |

## 4 改革改善案（PLAN）

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| (1)今後の事業の方向性 | □拡大 | □改善 | ■現状維持 | □縮小 | □統合 | □廃止・休止 |
| | コストの方向性 | ↑　増加 | 事業費の方向性 | ↑　増額 | 成果の方向性 | ↑　向上 |
| (2)改革・改善案<br>※対象、意図、手段等の見直しなど | | | | | | |

様式1-1

# 平成27 年度（ 26 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 27 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

| 事務事業名 | No. 580314 | 石川家住宅管理事業 | 主管課名 | 教育行政課 |
|---|---|---|---|---|
| この事務事業の位置 | 政策 | 誰もが健康で生きがいのある暮らし | | |
| | 施策 | 文化・芸術に親しみ、育むまち | 課長名 | 神谷　浩一 |
| | 基本事業 | 文化財の保存と活用 | | |

## (1)事業の概要

みよし市三好町三好上児童館から西に歩いて２分のところにある「石川家住宅」を平成２６年度に一般公開し、管理を行なう。
石川家住宅は、明治４３年に初代村長の石川愛治郎氏の隠居住宅として建設され、子孫であり３代目の石川恒夫氏（元東海銀行勤務、元中京テレビ放送会長、三好町誌編さんにも貢献、５万冊余の図書を寄贈）が平成２３年２月まで住居として使用されていた。
平成２３年８月にみよし市有形文化財に指定後、同年１１月に土地、建物、調度品や美術品も一括して市へ寄贈された。
石灯籠、松の大木、離れ座敷、長屋門と東蔵、ノスタルジーを感じられる明治末期のみよし市に建てられた豪農の住宅である。

**(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標)** ･･･数値は(9)

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 年間剪定回数 | 回 |
| ② | 維持管理等委託件数 | 件 |
| ③ | | |

その指標

| (26年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等) | ①庭の剪定・警備：見積→委託事務→完了検査→支払<br>②調度品の調査<br>（１）学芸員に連絡→現場視察、資料の確認・・・、リスト作成<br>（２）委託部分：見積→委託事務→完了検査→支払 |
|---|---|
| 27年度計画 | ■前年と同様<br>□変更あり → 変更内容 |

## (2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

市民、みよし市に訪問した人

**(6)対象指標(対象の大きさを表す指標)** ･･･数値は(9)

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 人口 | 人 |
| ② | | |
| ③ | | |

## (3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

明治期の建造物や庭、調度品などを観覧して、何かを感じ取ってもらい、みよし市の明治・大正・昭和の時代に関心を持ってもらう。

**(7)成果指標(意図の達成度を示す指標)** ･･･数値は(9)

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 年間観覧者数 | 人 |
| ② | 計画進捗率ｏｒ評価時点での達成率 | % |
| ③ | | |

## (4)結果(上位基本事業の意図)

郷土の歴史・伝統文化に親しむ

**(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標)** ･･･数値は(9)

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 「郷土の歴史・伝統文化に親しむ」市民の割合 | % |
| ② | | |
| ③ | | |

## (9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

| 指標＼年度 | | 単位 | 25年度実績値 | 26年度実績値 | 27年度計画値 | 28年度目標値 | 29年度目標値 | 30年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| (5)の活動指標 | ① | 回 | 1 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| | ② | 件 | 2 | 4 | 5 | 5 | 5 | 5 |
| | ③ | | | | | | | |
| (6)の対象指標 | ① | 人 | 59,474 | 59,474 | 59,885 | 60,800 | 61,400 | 62,000 |
| | ② | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | |
| (7)の成果指標 | ① | 人 | 0 | 2,859 | 3,840 | 4,032 | 4,224 | 4,416 |
| | ② | % | 80 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |
| | ③ | | | | | | | |
| (8)の結果の成果指標 | ① | % | 10 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 |
| | ② | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | |

**(10)予算費目**　会計　01 一般会計　款 10　項 05　目 07

| (11)コスト | | 年度 | 25年度実績値 | 26年度実績値 | 27年度計画値 | 28年度目標値 | 29年度目標値 | 30年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業費 (決算又は予算額) | | 単位 | 19,934 | 20,874 | 7,119 | 7,119 | 7,119 | 7,119 |
| A 財源内訳 | 国庫支出金 | 千円 | 8,831 | 3,593 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 県支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 千円 | 6,500 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 千円 | 4,603 | 17,281 | 7,119 | 7,119 | 7,119 | 7,119 |
| 人件費Ｂ | | 千円 | 7,793 | 8,371 | 8,371 | 8,371 | 8,371 | 8,371 |
| 正職員従事時間×人数 | | 時間×人 | 600 × 3 | 600 × 3 | 600 × 3 | 600 × 3 | 600 × 3 | 600 × 3 |
| 正職員以外の人件費 | | 千円 | 1,120 | 2,189 | 2,189 | 2,189 | 2,189 | 2,189 |
| その他費用Ｃ | | 千円 | 90 | 572 | 572 | 400 | 400 | 400 |
| トータルコストA+B+C | | 千円 | 27,817 | 29,817 | 16,062 | 15,890 | 15,890 | 15,890 |
| 単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標) | ① | 千円/　人 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | ② | 千円/ | | | | | | |
| | ③ | 千円/ | | | | | | |

様式1-2

| 2 環境変化と住民意見等 | 事務事業名 | No. | 580314 | 石川家住宅管理事業 |
|---|---|---|---|---|

| (1)この事務事業はいつから開始したのか？ | (4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？ |
|---|---|
| 平成２３年度　から | 一部老朽化した部分があるので景観を考慮しながら、修繕していく必要がある。 |
| (2)この事務事業を開始したきっかけは？<br>建物の雰囲気を変えずに家全体を資料館として活用し、図書や所蔵品を公開することが石川恒夫氏の希望であった。 | |
| (3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？<br>■変化していない<br>□変化している → 変化した内容 | |

| 3 評価（SEE） | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 目的妥当性 | (1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？<br>また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？ | □法定受託事務<br>■自治事務 | 根拠法令 | 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する |
| | | | 根拠法令 | 文化財保護法、みよし市立歴史民俗資料館設置条例 |
| | | | この事務を行う根拠又は理由 | みよし市の伝統文化を広く紹介し、理解を深めてもらう機会を提供することは、資料館の重要な業務である。 |
| | (2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？ | ■結びつく<br>□結びつかない | 理由 | |
| | (3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？ | □できる → □拡大 / □縮小<br>■できない | 内容 | |
| | (4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？ | □できる → □追加 / □拡充 / □絞込み<br>■できない | 内容 | |
| 有効性 | (5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？ | ■影響が大きい<br>□多少影響がある<br>□影響はない | 理由又は内容 | |
| | (6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？<br>※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？ | ■できる<br>□できない | 理由又は内容 | 看板・ポスター・チラシ配布等広報活動を検討する。 |
| | (7)類似又は関連する事業はありませんか？<br>また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？ | ■ある → ■庁内事業 / □庁外事業<br>□ない | 類似事業名 | 資料館展示事業 |
| | | | 類似事業との再編の可能性 | □ある → 内容<br>■ない |
| 効率性 | (8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など) | □ある<br>■ない | 内容 | |
| | (9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？) | ■ある<br>□ない | 内容 | 市役所周辺の公共施設を統合すれば、維持管理業務をまとめることができ、人件費の削減につながる。 |
| 公平性 | (10)受益者負担はありますか？<br>また、受益者負担割合は適正ですか？ | □ある / ■ない → ■現状で適正 / □検討が必要<br>□受益者がいない | 内容 | |

| 4 改革改善案（PLAN） | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| (1)今後の事業の方向性 | □拡大 | ■改善 | □現状維持 | □縮小 | □統合 | □廃止・休止 |
| | コストの方向性 | → 維持 | 事業費の方向性 | → 維持 | 成果の方向性 | → 維持 |
| (2)改革・改善案<br>※対象、意図、手段等の見直しなど | 利用者の利便向上を図るため、順次設備及び機器を整備し、施設の適正な維持管理を図る必要がある。<br>単なる市指定文化財を公開するだけの施設ではなく、むかしの暮らしや遊びを体験したり、みよし市周辺の歴史を学んだりすることによって、幼児から高齢者までがそれぞれに楽しめる施設を目指す。 | | | | | |

様式1-1

# 平成27 年度（ 26 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 27 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

| 事務事業名 | No. 580401 | 図書、逐次刊行物（新聞・雑誌等）等整備事業 | 主管課名 | 教育行政課 |
|---|---|---|---|---|
| この事務事業の位置 | 政策 | 誰もが健康で生きがいのある暮らし | | |
| | 施策 | 文化・芸術に親しみ、育むまち | 課長名 | 深谷　幸広 |
| | 基本事業 | 図書館の整備 | | |

## (1)事業の概要

多様化する市民ニーズに対応できる情報の提供と生涯学習時代の到来に則した計画的な図書館資料の整備（図書の購入、更新、登録、配置）を行う。
市民の知る権利をみたすため、図書館法に基づき、計画的な蔵書更新、収集が必要不可欠である。限られた資料費でいかに新刊と定番・必須図書とのバランスをとり、購入していくか。
(仮)図書館学習交流プラザの図書の計画的な整備のため、複数年度に渡り、資料整備を行う。

## (5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標)　･･･数値は(9)

| | 名　　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 図書等購入冊数 | 冊 |
| ② | 除籍図書冊数 | 冊 |
| ③ | 蔵書冊数 | 冊 |

その指標

| (26年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等) | 利用者のニーズに応え、最新の文芸書や、注目されている分野、新たに発生した事件に関する図書を購入した。また、既に登録した図書・雑誌などについても、配置場所(正しい位置にあるか、見やすく取り出しやすいか、など)や資料状態(汚破損の有無)の確認を行い、常に館内奉仕に対応できる状態にした。 |
|---|---|

| 27年度計画 | □前年と同様<br>■変更あり | 変更内容 | (仮称）図書館学習交流プラザ開館に向け資料の拡充をすすめる。 |
|---|---|---|---|

## (2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

①購入図書
②リクエスト図書(新規購入・予約・他館借受)

## (6)対象指標(対象の大きさを表す指標)　･･･数値は(9)

その指標

| | 名　　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 購入図書（選定・リクエスト） | 冊 |
| ② | リクエスト図書受付数 | 冊 |
| ③ | | |

## (3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

①多様な市民ニーズに応えられる蔵書構成ができるようにする。
②図書を充実させ、利用者に満足してもらう。

## (7)成果指標(意図の達成度を示す指標)　･･･数値は(9)

その指標

| | 名　　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 入館者数(実数)／人口(中央) | % |
| ② | 図書利用者/入館者数（中央） | % |
| ③ | | |

## (4)結果(上位基本事業の意図)

利用しやすい図書館サービスを充実し、教養や知識を得てもらう

## (8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標)　･･･数値は(9)

その指標

| | 名　　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 市民１人当たりの図書利用冊数 | 冊 |
| ② | | |
| ③ | | |

## (9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

| 指標＼年度 | | 単位 | 25年度実績値 | 26年度実績値 | 27年度計画値 | 28年度目標値 | 29年度目標値 | 30年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| (5)の活動指標 | ① | 冊 | 7,240 | 7,262 | 12,000 | 12,000 | 13,200 | 13,200 |
| | ② | 冊 | 13,120 | 12,911 | 7,000 | 7,000 | 7,000 | 7,000 |
| | ③ | 冊 | 160,582 | 160,209 | 164,200 | 169,200 | 175,400 | 181,600 |
| (6)の対象指標 | ① | 冊 | 7,240 | 7,262 | 12,000 | 12,000 | 13,200 | 13,200 |
| | ② | 冊 | 14,045 | 13,104 | 15,000 | 22,500 | 30,000 | 30,000 |
| | ③ | | | | | | | |
| (7)の成果指標 | ① | % | 146.1 | 134.5 | 148 | 329.8 | 435.5 | 431.3 |
| | ② | % | 43 | 48 | 48 | 60 | 60 | 60 |
| | ③ | | | | | | | |
| (8)の結果の成果指標 | ① | 冊 | 5.4 | 5.1 | 5.3 | 7.8 | 10.3 | 10.2 |
| | ② | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | |

## (10)予算費目

| 会計 | 01 一般会計 | 款 | 10 | 項 | 05 | 目 | 04 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

## (11)コスト

| | | 年度 | 25年度実績値 | 26年度実績値 | 27年度計画値 | 28年度目標値 | 29年度目標値 | 30年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業費 (決算又は予算額) | | 単位 | 9,963 | 10,247 | 41,977 | 37,616 | 34,548 | 34,548 |
| A 財源内訳 | 国庫支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 県支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 千円 | 0 | 0 | 40,000 | 29,309 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 千円 | 9,963 | 10,247 | 1,977 | 8,307 | 34,548 | 34,548 |
| 人件費B | | 千円 | 4,078 | 5,101 | 5,101 | 3,778 | 3,778 | 3,778 |
| | 正職員従事時間×人数 | 時間×人 | 275 × 4 | 300 × 4 | 300 × 4 | 275 × 4 | 275 × 4 | 275 × 4 |
| | 正職員以外の人件費 | 千円 | 0 | 980 | 980 | | | |
| その他費用C | | 千円 | 47 | 50 | 47 | 47 | 47 | 47 |
| トータルコストA+B+C | | 千円 | 14,088 | 15,398 | 47,125 | 41,441 | 38,373 | 38,373 |
| 単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標) | ① | 千円/　冊 | 2 | 2 | 4 | 3 | 3 | 3 |
| | ② | 千円/　冊 | 1 | 1 | 3 | 2 | 1 | 1 |
| | ③ | 千円/ | | | | | | |

様式1-2

| 2 環境変化と住民意見等 | 事務事業名 | No. | 580401 | 図書、逐次刊行物（新聞・雑誌等）等整備事業 |
|---|---|---|---|---|
| (1)この事務事業はいつから開始したのか？ | 昭和53年4月　図書館開館当初　から | | | |
| (2)この事務事業を開始したきっかけは？ | 図書館法の基本理念に基づく。開館当初からの方針による。 | | | |
| (3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ | □変化していない<br>■変化している → 変化した内容：出版流通の悪化が止まらない。利用者のニーズは増加・多様化しつづけている。 | | | |
| (4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？ | (仮)図書館学習交流プラザに向け、図書資料の整備が必要 | | | |

| 3 評価（SEE） | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 目的妥当性 | (1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？<br>また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？ | □法定受託事務<br>■自治事務 | 根拠法令 | 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する |
| | | | 根拠法令 | 図書館法 |
| | | | この事務を行う根拠又は理由 | 第１条に基づく |
| | (2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？ | ■結びつく<br>□結びつかない | 理由 | |
| | (3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？ | □できる → □拡大 / □縮小<br>■できない | 内容 | |
| | (4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？ | □できる → □追加 / □拡充 / □絞込み<br>■できない | 内容 | |
| 有効性 | (5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？ | ■影響が大きい<br>□多少影響がある<br>□影響はない | 理由又は内容 | |
| | (6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？<br>※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？ | ■できる<br>□できない | 理由又は内容 | （仮称）図書館学習交流プラザ開館により、平成２８年度以降の入館者、図書利用者の増加が見込まれる。 |
| | (7)類似又は関連する事業はありませんか？<br>また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？ | □ある → □庁内事業 / □庁外事業<br>■ない | 類似事業名 | |
| | | | 類似事業との再編の可能性 | □ある → 内容<br>□ない |
| 効率性 | (8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など) | □ある<br>■ない | 内容 | |
| | (9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？) | □ある<br>■ない | 内容 | |
| 公平性 | (10)受益者負担はありますか？<br>また、受益者負担割合は適正ですか？ | □ある / □ない → □現状で適正 / □検討が必要<br>■受益者がいない | 内容 | |

| 4 改革改善案（PLAN） | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| (1)今後の事業の方向性 | ■拡大　□改善　□現状維持　□縮小　□統合　□廃止・休止 | | | | | |
| | コストの方向性 | ↓　削減 | 事業費の方向性 | ↓　減額 | 成果の方向性 | ↑　向上 |
| (2)改革・改善案<br>※対象、意図、手段等の見直しなど | 限られた予算の中で、利用者の求めるものと図書館として必要なものとのバランスを考えて資料の整備を行わなければならない。<br>そのために資料についての研究や、利用者からの情報収集に努めなければならない。<br>(仮)図書館学習交流プラザ開館予定（平成28年度） | | | | | |

様式1-1

# 平成27 年度（ 26 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 27 年 10 月 30 日

| 1 事務事業の現状（DO） | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 事務事業名 | No. 580402 | 図書館奉仕（図書の貸出等）事業 | | 主管課名 | 教育行政課 |
| この事務事業の位置 | 政策 | 誰もが健康で生きがいのある暮らし | | | |
| | 施策 | 文化・芸術に親しみ、育むまち | | 課長名 | 深谷　幸広 |
| | 基本事業 | 図書館の整備 | | | |

## (1)事業の概要

利用者のニーズに応え、図書の貸出・返却を行い、また希望する情報を得るための補助、案内を行う。

図書館奉仕
カウンター業務（貸出返却、閲覧）
図書督促業務、文献複写、図書配架維持管理業務、
視聴覚資料管理業務、レファレンスサービス（読書相談）

平成25年度開架冊数 約94,322冊

**(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標)** ･･･数値は(9)

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 貸出の総数 | 冊 |
| ② | 入館者数 | 人 |
| ③ | | |

その指標

| | |
|---|---|
| (26年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等) | カウンター業務(貸出返却、閲覧)・新聞雑誌受入業務・図書督促業務・文献複写・インターネットサービス・図書配架維持管理業務・印刷物等館内掲示業務・視聴覚資料管理業務・団体貸出業務・レファレンスサービス（読書相談、調査・研究） |
| 27年度計画 | ■前年と同様　□変更あり → 変更内容 |

## (2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

市民

**(6)対象指標(対象の大きさを表す指標)** ･･･数値は(9)

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 人口 | 人 |
| ② | | |
| ③ | | |

## (3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

利用しやすい図書館サービスの提供を受ける

**(7)成果指標(意図の達成度を示す指標)** ･･･数値は(9)

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 読書相談件数 | 件 |
| ② | | |
| ③ | | |

## (4)結果(上位基本事業の意図)

利用しやすい図書館サービスを充実することにより、市民に知識や教養を習得してもらう。

**(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標)** ･･･数値は(9)

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 市民１人当たりの図書利用冊数 | 冊 |
| ② | | |
| ③ | | |

## (9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

| 指標＼年度 | | 単位 | 25年度実績値 | 26年度実績値 | 27年度計画値 | 28年度目標値 | 29年度目標値 | 30年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| (5)の活動指標 | ① | 冊 | 321,166 | 303,520 | 320,000 | 480,000 | 640,000 | 640,000 |
| | ② | 人 | 86,892 | 80,556 | 90,000 | 202,500 | 270,000 | 270,000 |
| | ③ | | | | | | | |
| (6)の対象指標 | ① | 人 | 59,474 | 59,885 | 60,800 | 61,400 | 62,000 | 62,600 |
| | ② | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | |
| (7)の成果指標 | ① | 件 | 1,651 | 1,355 | 2,000 | 3,000 | 4,000 | 4,000 |
| | ② | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | |
| (8)の結果の成果指標 | ① | 冊 | 5.4 | 5.1 | 5.3 | 7.8 | 10.3 | 10.2 |
| | ② | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | |

## (10)予算費目

| 会計 | 01 一般会計 | 款 | 10 | 項 | 05 | 目 | 04 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

## (11)コスト

| | | 年度 | 25年度実績値 | 26年度実績値 | 27年度計画値 | 28年度目標値 | 29年度目標値 | 30年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業費 (決算又は予算額) | | 単位 | 639 | 574 | 2,242 | 1,231 | 1,252 | 1,252 |
| A 財源内訳 | 国庫支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 県支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 千円 | 28 | 27 | 30 | 60 | 60 | 60 |
| | 一般財源 | 千円 | 611 | 547 | 2,212 | 1,171 | 1,192 | 1,192 |
| 人件費B | | 千円 | 3,707 | 5,951 | 3,434 | 3,434 | 3,434 | 3,434 |
| | 正職員従事時間×人数 | 時間×人 | 250 × 4 | 300 × 5 | 250 × 4 | 250 × 4 | 250 × 4 | 250 × 4 |
| | 正職員以外の人件費 | 千円 | | 800 | | | | |
| その他費用C | | 千円 | 70 | 43 | 70 | 70 | 70 | 70 |
| トータルコストA+B+C | | 千円 | 4,416 | 6,568 | 5,746 | 4,735 | 4,756 | 4,756 |
| 単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標) | ① | 千円/　人 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | ② | 千円/ | | | | | | |
| | ③ | 千円/ | | | | | | |

様式1-2

| 2 環境変化と住民意見等 | 事務事業名 | No. | 580402 | 図書館奉仕（図書の貸出等）事業 |
|---|---|---|---|---|

| (1)この事務事業はいつから開始したのか？ | (4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？ |
|---|---|
| 昭和53年4月　図書館開館当初　から | 専門職員の配置<br>電算システムの安定した維持管理<br>利用状況から手狭である。（平成25年度貸出　321,166冊数） |
| **(2)この事務事業を開始したきっかけは？** | |
| 昭和46年中央公民館図書室オープン | |
| **(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？** | |
| □変化していない<br>■変化している → 変化した内容：利用者のニーズが多様化している | |

| 3 評価（SEE） | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 目的妥当性 | (1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？<br>また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？ | □法定受託事務<br>■自治事務 | 根拠法令 | 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する | |
| | | | 根拠法令 | 図書館法 | |
| | | | この事務を行う根拠又は理由 | 第３条に基づく | |
| | (2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？ | ■結びつく<br>□結びつかない | 理由 | | |
| | (3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？ | □できる → □拡大 / □縮小<br>■できない | 内容 | | |
| | (4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？ | □できる → □追加 / □拡充 / □絞込み<br>■できない | 内容 | | |
| 有効性 | (5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？ | ■影響が大きい<br>□多少影響がある<br>□影響はない | 理由又は内容 | | |
| | (6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？<br>※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？ | ■できる<br>□できない | 理由又は内容 | 図書館の雰囲気作り、職員の技量向上。 | |
| | (7)類似又は関連する事業はありませんか？<br>また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？ | □ある → □庁内事業 / □庁外事業<br>■ない | 類似事業名 | | |
| | | | 類似事業との再編の可能性 | □ある<br>□ない | 内容 |
| 効率性 | (8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など) | □ある<br>■ない | 内容 | | |
| | (9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？) | □ある<br>■ない | 内容 | | |
| 公平性 | (10)受益者負担はありますか？<br>また、受益者負担割合は適正ですか？ | □ある / ■ない → ■現状で適正 / □検討が必要<br>□受益者がいない | 内容 | | |

| 4 改革改善案（PLAN） | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| (1)今後の事業の方向性 | ■拡大 | □改善 | □現状維持 | □縮小 | □統合 | □廃止・休止 |
| | コストの方向性 | ↓　削減 | 事業費の方向性 | ↓　減額 | 成果の方向性 | ↑　向上 |
| (2)改革・改善案<br>※対象、意図、手段等の見直しなど | 図書館ネットワークを活用し、瞬時に情報を得られる場としての役割や、生涯学習施設のサービスポイントとしての役割を担う分館等の整備が利用状況からみても急務である。<br>新図書館開館に伴う利用者の増大に備え、図書の研修等を受講し、職員の専門性を高める。 | | | | | |

様式1-1

# 平成27 年度（ 26 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 27 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

| 事務事業名 | No. 580403 | 読書啓発事業 | 主管課名 | 教育行政課 |
|---|---|---|---|---|
| この事務事業の位置 | 政策 | 誰もが健康で生きがいのある暮らし | | |
| | 施策 | 文化・芸術に親しみ、育むまち | 課長名 | 深谷　幸広 |
| | 基本事業 | 図書館の整備 | | |

## (1)事業の概要

市民の教養・文化の向上を進め心豊な情操、感性を涵養し事業を行う。
ボランティア団体の育成、団体活動の積極的な受入れ。
定期講座、特別講座の開催。
読書感想文コンクールの実施。
学校における読み聞かせ活動への支援。

## (5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標)　･･･数値は(9)

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 講座開催数 | 回 |
| ② | 児童生徒に感想文を依頼した件数 | 件 |
| ③ | | |

その指標

| (26年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等) | ・講座・読書感想文コンクールの実施(平成26年9月)　・ボランティア団体の育成（おはなし会実施等）<br>・子ども一日司書(小学校) 平成26年7月21日～25日まで<br>・職場体験　三好中9/17～19、三好丘中12/3～5、南中1/14～16、北中11/12～14 |
|---|---|
| 27年度計画 | ■前年と同様<br>□変更あり → 変更内容 |

## (2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

講座受講者
児童・生徒

## (6)対象指標(対象の大きさを表す指標)　･･･数値は(9)

その指標

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 受講者（定員） | 人 |
| ② | 児童・生徒数 | 人 |
| ③ | | |

## (3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

文学に興味をもってもらう
読書に親しんでもらう

## (7)成果指標(意図の達成度を示す指標)　･･･数値は(9)

その指標

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 参加者 | 人 |
| ② | 児童向け図書（絵本・児童書）貸出数（全館） | 冊 |
| ③ | | |

## (4)結果(上位基本事業の意図)

利用しやすい図書館サービスを充実し、教養や知識を習得してもらう

## (8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標)　･･･数値は(9)

その指標

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 市民1人あたりの図書利用冊数 | 冊 |
| ② | | |
| ③ | | |

## (9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

| 指標＼年度 | | 単位 | 25年度実績値 | 26年度実績値 | 27年度計画値 | 28年度目標値 | 29年度目標値 | 30年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| (5)の活動指標 | ① | 回 | 16 | 20 | 16 | 16 | 16 | 16 |
| | ② | 件 | 7,345 | 7,200 | 7,700 | 7,700 | 7,700 | 7,700 |
| | ③ | | | | | | | |
| (6)の対象指標 | ① | 人 | 60 | 245 | 60 | 60 | 60 | 60 |
| | ② | 人 | 7,345 | 7,200 | 7,700 | 7,700 | 7,700 | 7,700 |
| | ③ | | | | | | | |
| (7)の成果指標 | ① | 人 | 34 | 202 | 60 | 60 | 60 | 60 |
| | ② | 冊 | 151,067 | 142,772 | 156,000 | 234,000 | 312,000 | 312,000 |
| | ③ | | | | | | | |
| (8)の結果の成果指標 | ① | 冊 | 5.4 | 5.1 | 5.3 | 7.8 | 10.3 | 10.2 |
| | ② | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | |

## (10)予算費目

| 会計 | 01 一般会計 | 款 | 10 | 項 | 05 | 目 | 04 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

## (11)コスト

| | | 年度 | 25年度実績値 | 26年度実績値 | 27年度計画値 | 28年度目標値 | 29年度目標値 | 30年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業費 (決算又は予算額) | | 単位 | 779 | 811 | 878 | 2,430 | 1,075 | 1,075 |
| A 財源内訳 | 国庫支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 県支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 千円 | 83 | 39 | 61 | 91 | 91 | 91 |
| | 一般財源 | 千円 | 696 | 772 | 817 | 2,339 | 984 | 984 |
| 人件費B | | 千円 | 3,989 | 4,177 | 4,177 | 3,695 | 3,695 | 3,695 |
| | 正職員従事時間×人数 | 時間×人 | 269 × 4 | 185 × 5 | 185 × 5 | 269 × 4 | 269 × 4 | 269 × 4 |
| | 正職員以外の人件費 | 千円 | | 1,000 | 1,000 | | | |
| その他費用C | | 千円 | 93 | 108 | 93 | 93 | 93 | 93 |
| トータルコストA+B+C | | 千円 | 4,861 | 5,096 | 5,148 | 6,218 | 4,863 | 4,863 |
| 単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標) | ① | 千円/　人 | 81 | 21 | 86 | 104 | 81 | 81 |
| | ② | 千円/　人 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | ③ | 千円/ | | | | | | |

様式1-2

| 2 環境変化と住民意見等 | 事務事業名 | No. | 580403 | 読書啓発事業 |
|---|---|---|---|---|

**(1)この事務事業はいつから開始したのか？**

昭和53年7月　から

**(2)この事務事業を開始したきっかけは？**

多くの利用者に本に親しんでもらい、知る権利の充足を図るため開始した。

**(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？**

■ 変化していない
□ 変化している → 変化した内容

**(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？**

市民の図書館活動への関心、期待は、時代の要請であり、積極的に参加して自分の能力や体験を活かしたいという希望もある。そのためのボランティア受入れ態勢環境は充分に整っていない。

| 3 評価（SEE） | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 目的妥当性 | (1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？<br>また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？ | □法定受託事務<br>■自治事務 | 根拠法令 | 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する | |
| | | | 根拠法令 | 図書館法 | |
| | | | この事務を行う根拠又は理由 | 第２条に基づく | |
| | (2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？ | ■結びつく<br>□結びつかない | 理由 | | |
| | (3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？ | □できる → □拡大 / □縮小<br>■できない | 内容 | | |
| | (4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？ | □できる → □追加 / □拡充 / □絞込み<br>■できない | 内容 | | |
| 有効性 | (5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？ | ■影響が大きい<br>□多少影響がある<br>□影響はない | 理由又は内容 | | |
| | (6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？<br>※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？ | ■できる<br>□できない | 理由又は内容 | 市民の参加をうながすためにＰＲを行い、参加者の増加を図る。 | |
| | (7)類似又は関連する事業はありませんか？<br>また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？ | □ある → □庁内事業 / □庁外事業<br>■ない | 類似事業名 | | |
| | | | 類似事業との再編の可能性 | □ある → 内容<br>□ない | |
| 効率性 | (8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など) | □ある<br>■ない | 内容 | | |
| | (9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？) | □ある<br>■ない | 内容 | | |
| 公平性 | (10)受益者負担はありますか？<br>また、受益者負担割合は適正ですか？ | □ある / ■ない → ■現状で適正 / □検討が必要<br>□受益者がいない | 内容 | | |

| 4 改革改善案（PLAN） | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| (1)今後の事業の方向性 | ■拡大 | □改善 | □現状維持 | □縮小 | □統合 | □廃止・休止 |
| | コストの方向性 | ↑　増加 | 事業費の方向性 | ↑　増額 | 成果の方向性 | ↑　向上 |
| (2)改革・改善案<br>※対象、意図、手段等の見直しなど | 青少年の本離れが顕著な時代であり、高齢化社会に伴い、生涯学習の時代でもある。この先、図書館には、あらゆる年代層を対象にしたさまざまな読書啓発活動、奉仕活動が求められることが予測され、時代や社会を反映した各種の講座開催や障害者の利便をはかるためのボランティア育成、学校や地域との連携を図り、読書啓発事業に取り組んでいく必要がある。<br>平成28年度開館にあたり記念講演等の検討を行う。 | | | | | |

様式1-1

# 平成27 年度（ 26 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 27 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

| 事務事業名 | No. 580404 | 図書館友の会活動支援事業 | 主管課名 | 教育行政課 |
|---|---|---|---|---|
| この事務事業の位置 | 政策 | 誰もが健康で生きがいのある暮らし | | |
| | 施策 | 文化・芸術に親しみ、育むまち | 課長名 | 深谷　幸広 |
| | 基本事業 | 図書館の整備 | | |

## (1)事業の概要

図書館読書活動を積極的に行うために、図書館友の会に補助金を交付する。

補助率：２分の１
補助上限：９５千円

(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標)　･･･数値は(9)

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 活動回数 | 回 |
| ② | | |
| ③ | | |

その指標

(26年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)

・役員会(年3回)・文学散歩・手作り絵本展・古本バザー・おはなし会（定例会・かるた会・クリスマス会）
・ボランティア活動（特別整理期間に清掃、本の整理等協力）
・読み聞かせなどの事業の実施に対し補助金を交付し支援する。
・おはなしふれあいフェスティバル開催。

27年度計画　■前年と同様　□変更あり　変更内容

## (2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

図書館友の会加入団体

(6)対象指標(対象の大きさを表す指標)　･･･数値は(9)

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 団体数 | 団体 |
| ② | 会員数 | 人 |
| ③ | | |

## (3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

図書館事業に参加してもらう
団体が活発に活動してもらう

(7)成果指標(意図の達成度を示す指標)　･･･数値は(9)

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 図書館友の会の活動へ参加した延べ人数 | 人 |
| ② | 団体活動人数 | 人 |
| ③ | | |

## (4)結果(上位基本事業の意図)

利用しやすい図書館サービスを充実し、教養や知識を習得してもらう。

(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標)　･･･数値は(9)

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 市民1人当たりの図書利用冊数 | 人 |
| ② | | |
| ③ | | |

## (9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

| 指標＼年度 | | 単位 | 25年度実績値 | 26年度実績値 | 27年度計画値 | 28年度目標値 | 29年度目標値 | 30年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| (5)の活動指標 | ① | 回 | 136 | 130 | 150 | 150 | 150 | 150 |
| | ② | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | |
| (6)の対象指標 | ① | 団体 | 11 | 10 | 6 | 7 | 7 | 7 |
| | ② | 人 | 120 | 104 | 100 | 100 | 100 | 100 |
| | ③ | | | | | | | |
| (7)の成果指標 | ① | 人 | 2,100 | 2,200 | 2,300 | 2,300 | 2,300 | 2,300 |
| | ② | 人 | 1,520 | 1,550 | 1,500 | 1,500 | 1,500 | 1,500 |
| | ③ | | | | | | | |
| (8)の結果の成果指標 | ① | 人 | 5.4 | 5.1 | 5.3 | 7.8 | 10.3 | 10.2 |
| | ② | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | |

## (10)予算費目

| 会計 | 01 一般会計 | 款 | 10 | 項 | 05 | 目 | 04 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

## (11)コスト

| | | 年度 | 25年度実績値 | 26年度実績値 | 27年度計画値 | 28年度目標値 | 29年度目標値 | 30年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業費A (決算又は予算額) | | 単位 | 49 | 49 | 95 | 0 | 0 | 0 |
| 財源内訳 | 国庫支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 県支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 千円 | 49 | 49 | 95 | 0 | 0 | 0 |
| 人件費B | | 千円 | 2,966 | 2,948 | 2,948 | 2,748 | 2,748 | 2,748 |
| | 正職員従事時間×人数 | 時間×人 | 200 × 4 | 200 × 4 | 200 × 4 | 200 × 4 | 200 × 4 | 200 × 4 |
| | 正職員以外の人件費 | 千円 | | 200 | 200 | | | |
| その他費用C | | 千円 | 47 | 43 | 47 | 47 | 47 | 47 |
| トータルコストA+B+C | | 千円 | 3,062 | 3,040 | 3,090 | 2,795 | 2,795 | 2,795 |
| 単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標) | ① | 千円/ 団体 | 278 | 304 | 515 | 399 | 399 | 399 |
| | ② | 千円/ 人 | 26 | 29 | 31 | 28 | 28 | 28 |
| | ③ | 千円/ | | | | | | |

様式1-2

| 2 環境変化と住民意見等 | 事務事業名 | No. | 580404 | 図書館友の会活動支援事業 |
|---|---|---|---|---|

**(1)この事務事業はいつから開始したのか？**

昭和53年7月　から

**(2)この事務事業を開始したきっかけは？**

多くの利用者に本に親しんでもらい、知る権利の充足を図るため開始した。

**(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？**

□変化していない
■変化している → 変化した内容：人口は開設当初の予想より上昇をしており、住民の図書館活動への関心、期待が大きい。

**(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？**

市民の図書館活動への関心、期待は、時代の要請であり、積極的に参加して自分の能力や体験を活かしたいという希望もある。そのためのボランティア受入れ態勢環境は充分に整っていない。

| 3 評価（SEE） | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 目的妥当性 | (1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？<br>また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？ | □法定受託事務<br>■自治事務 | 根拠法令 | 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する | |
| | | | 根拠法令 | みよし市図書館団体育成事業補助金交付基準、図書館法 | |
| | | | この事務を行う根拠又は理由 | 図書館法第３条に基づき、団体の支援育成のため、みよし市図書館団体育成事業補助金交付基準を定め、支援に努めている | |
| | (2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？ | ■結びつく<br>□結びつかない | 理由 | | |
| | (3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？ | □できる → □拡大 / □縮小<br>■できない | 内容 | | |
| | (4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？ | □できる → □追加 / □拡充 / □絞込み<br>■できない | 内容 | | |
| 有効性 | (5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？ | ■影響が大きい<br>□多少影響がある<br>□影響はない | 理由又は内容 | | |
| | (6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？<br>※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？ | ■できる<br>□できない | 理由又は内容 | 市民にＰＲを行い、講座・研修などを開催し、友の会の活動に参加できるようにする。 | |
| | (7)類似又は関連する事業はありませんか？<br>また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？ | □ある → □庁内事業 / □庁外事業<br>■ない | 類似事業名 | | |
| | | | 類似事業との再編の可能性 | □ある<br>□ない | 内容 |
| 効率性 | (8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など) | □ある<br>■ない | 内容 | | |
| | (9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？) | □ある<br>■ない | 内容 | | |
| 公平性 | (10)受益者負担はありますか？<br>また、受益者負担割合は適正ですか？ | ■ある → ■現状で適正<br>□ない → □検討が必要<br>□受益者がいない | 内容 | | |

| 4 改革改善案（PLAN） | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| (1)今後の事業の方向性 | □拡大 | □改善 | ■現状維持 | □縮小 | □統合 | □廃止・休止 |
| | コストの方向性 | → 維持 | 事業費の方向性 | ↓ 減額 | 成果の方向性 | → 維持 |
| (2)改革・改善案<br>※対象、意図、手段等の見直しなど | | | | | | |

様式1-1

# 平成27 年度（ 26 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 27 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

| 事務事業名 | No. 580405 | 図書館電算事業 | 主管課名 | 教育行政課 |
|---|---|---|---|---|
| この事務事業の位置 | 政策 | 誰もが健康で生きがいのある暮らし | | |
| | 施策 | 文化・芸術に親しみ、育むまち | 課長名 | 深谷　幸広 |
| | 基本事業 | 図書館の整備 | | |

## (1)事業の概要

蔵書管理、貸出業務、各種統計等の図書館業務を行う。また、最近の情報の高度化に対処し、ネットワークの推進を行い、利用者ニーズに対応してゆく。

(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標)　･･･数値は(9)

| | 名　　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 中央図書館入館者数 | 人 |
| ② | 図書館インターネット利用者数 | 人 |
| ③ | インターネット蔵書検索システムアクセス数 | 件 |

その指標

| (26年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等) | 図書にＩＣチップの装備を進め、新図書館の準備をした。<br>図書館システムを更新し、クラウド化を行った。 |
|---|---|
| 27年度計画 | ■前年と同様<br>□変更あり → 変更内容 |

## (2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

市民

(6)対象指標(対象の大きさを表す指標)　･･･数値は(9)

| | 名　　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 人口 | 人 |
| ② | | |
| ③ | | |

## (3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

貸出・返却を行う
正確な図書館サービスの提供を行う

(7)成果指標(意図の達成度を示す指標)　･･･数値は(9)

| | 名　　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 貸出冊数 | 冊 |
| ② | トラブル発生件数 | 件 |
| ③ | | |

## (4)結果(上位基本事業の意図)

利用しやすい図書館サービスを充実し、教養や知識を習得してもらう

(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標)　･･･数値は(9)

| | 名　　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 市民１人あたりの図書利用冊数 | 冊 |
| ② | | |
| ③ | | |

## (9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

| 指標＼年度 | | 単位 | 25年度実績値 | 26年度実績値 | 27年度計画値 | 28年度目標値 | 29年度目標値 | 30年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| (5)の活動指標 | ① | 人 | 86,892 | 80,556 | 90,000 | 202,500 | 270,000 | 270,000 |
| | ② | 人 | 1,178 | 990 | 900 | 1,350 | 1,800 | 1,800 |
| | ③ | 件 | 722,238 | 710,644 | 697,000 | 1,045,500 | 1,394,000 | 1,394,000 |
| (6)の対象指標 | ① | 人 | 59,474 | 59,885 | 60,800 | 61,400 | 62,000 | 62,600 |
| | ② | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | |
| (7)の成果指標 | ① | 冊 | 321,166 | 303,520 | 320,000 | 480,000 | 640,000 | 640,000 |
| | ② | 件 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | ③ | | | | | | | |
| (8)の結果の成果指標 | ① | 冊 | 5.4 | 5.1 | 5.3 | 7.8 | 10.3 | 10.2 |
| | ② | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | |

## (10)予算費目

| 会計 | 01 一般会計 | 款 | 10 | 項 | 05 | 目 | 04 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

## (11)コスト

| (11)コスト | | 年度 | 25年度実績値 | 26年度実績値 | 27年度計画値 | 28年度目標値 | 29年度目標値 | 30年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業費 (決算又は予算額) | | 単位 | 6,152 | 7,712 | 9,099 | 19,864 | 20,321 | 20,321 |
| A 財源内訳 | 国庫支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 県支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 千円 | 6,152 | 7,712 | 9,099 | 19,864 | 20,321 | 20,321 |
| 人件費Ｂ | | 千円 | 2,595 | 3,091 | 3,091 | 2,404 | 2,404 | 2,404 |
| | 正職員従事時間×人数 | 時間×人 | 175 × 4 | 225 × 4 | 225 × 4 | 175 × 4 | 175 × 4 | 175 × 4 |
| | 正職員以外の人件費 | 千円 | | | | | | |
| その他費用Ｃ | | 千円 | 117 | 97 | 100 | 100 | 100 | 100 |
| トータルコストA+B+C | | 千円 | 8,864 | 10,900 | 12,290 | 22,368 | 22,825 | 22,825 |
| 単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標) | ① | 千円/　人 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | ② | 千円/ | | | | | | |
| | ③ | 千円/ | | | | | | |

様式1-2

| 2 環境変化と住民意見等 | 事務事業名 | No. | 580405 | 図書館電算事業 |
|---|---|---|---|---|

| (1)この事務事業はいつから開始したのか？ | (4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？ |
|---|---|
| 昭和62年4月から　　から | 平成２２年度より愛知県図書館オンライン化により電算システムの適正な維持管理をする必要が生じてきたため、インターネット図書検索システムの構築が課題となっている。 |
| (2)この事務事業を開始したきっかけは？ | |
| 効率よく正確な図書の管理運用のため | |
| (3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ | |
| □変化していない<br>■変化している → 変化した内容：インターネット環境の充実と普及、情報を提供する為の機器として認識された | |

| 3 評価（SEE） | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 目的妥当性 | (1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？<br>また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？ | □法定受託事務<br>■自治事務 | 根拠法令 | 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する | |
| | | | 根拠法令 | なし | |
| | | | この事務を行う根拠又は理由 | 図書館業務の効率化、高速化のため。 | |
| | (2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？ | ■結びつく<br>□結びつかない | 理由 | | |
| | (3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？ | □できる → □拡大 / □縮小<br>■できない | 内容 | | |
| | (4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？ | □できる → □追加 / □拡充 / □絞込み<br>■できない | 内容 | | |
| 有効性 | (5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？ | ■影響が大きい<br>□多少影響がある<br>□影響はない | 理由又は内容 | | |
| | (6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？<br>※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？ | ■できる<br>□できない | 理由又は内容 | 図書館施設の充実を行うことで、インターネット予約を全面開放する。 | |
| | (7)類似又は関連する事業はありませんか？<br>また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？ | □ある → □庁内事業 / □庁外事業<br>■ない | 類似事業名 | | |
| | | | 類似事業との再編の可能性 | □ある<br>□ない | 内容 |
| 効率性 | (8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など) | □ある<br>■ない | 内容 | | |
| | (9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？) | □ある<br>■ない | 内容 | | |
| 公平性 | (10)受益者負担はありますか？<br>また、受益者負担割合は適正ですか？ | □ある / ■ない → ■現状で適正 / □検討が必要<br>□受益者がいない | 内容 | | |

| 4 改革改善案（PLAN） | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| (1)今後の事業の方向性 | ■拡大 | □改善 | □現状維持 | □縮小 | □統合 | □廃止・休止 |
| | コストの方向性 | ↑　増加 | 事業費の方向性 | ↑　増額 | 成果の方向性 | ↑　向上 |
| (2)改革・改善案<br>※対象、意図、手段等の見直しなど | 今後、ＩＴ社会は更に拡大し、老若男女総てにおいて本格的な展開が予想される。図書館においても、最新の情報管理が一層、求められる。電子図書、インターネット専用回線等を活用した高度な情報交換システムの構築が必要となっている。そのため図書館の新たな時代に即した体制の準備が必要となっている。広報課、学校教育課、その他の関係する課との共同研究を行い、事業化することが急務である。 | | | | | |

様式1-1

# 平成27 年度（ 26 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 27 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

| 事務事業名 | No. 580406 | 図書館協議会運営事業 | 主管課名 | 教育行政課 |
|---|---|---|---|---|
| この事務事業の位置 | 政策 | 誰もが健康で生きがいのある暮らし | | |
| | 施策 | 文化・芸術に親しみ、育むまち | 課長名 | 深谷　幸広 |
| | 基本事業 | 図書館の整備 | | |

## (1)事業の概要

図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対し意見を述べる機関（図書館奉仕＝図書の収集貸出、図書目録整備、読書相談、相互貸借、読書会奨励、参考業務、学校等との協力）

(26年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)

役員会（年２回）及び視察研修（清洲市立図書館）
委員会の構成・・図書館利用団体、社会教育委員会代表、ＰＴＡ代表、学校教育課指導主事　計８名

27年度計画　■前年と同様　□変更あり　変更内容

## (5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標)　・・・数値は(9)

その指標

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 役員会開催数 | 回 |
| ② | | |
| ③ | | |

## (2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

図書館協議会委員

## (6)対象指標(対象の大きさを表す指標)　・・・数値は(9)

その指標

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 協議会委員 | 人 |
| ② | | |
| ③ | | |

## (3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

図書館協議会委員を通し、多くの意見をもらう

## (7)成果指標(意図の達成度を示す指標)　・・・数値は(9)

その指標

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 意見の数 | 件 |
| ② | 意見を取り入れた数 | 件 |
| ③ | | |

## (4)結果(上位基本事業の意図)

利用しやすい図書館サービスを充実し、教養や知識を習得してもらう

## (8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標)　・・・数値は(9)

その指標

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 市民1人あたりの図書利用冊数 | 冊 |
| ② | | |
| ③ | | |

## (9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

| 指標＼年度 | | 単位 | 25年度実績値 | 26年度実績値 | 27年度計画値 | 28年度目標値 | 29年度目標値 | 30年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| (5)の活動指標 | ① | 回 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| | ② | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | |
| (6)の対象指標 | ① | 人 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 |
| | ② | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | |
| (7)の成果指標 | ① | 件 | 11 | 14 | 11 | 11 | 11 | 11 |
| | ② | 件 | 9 | 10 | 9 | 9 | 9 | 9 |
| | ③ | | | | | | | |
| (8)の結果の成果指標 | ① | 冊 | 5.4 | 5.1 | 5.3 | 7.8 | 10.3 | 10.2 |
| | ② | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | |

## (10)予算費目

| 会計 | 01 一般会計 | 款 | 10 | 項 | 05 | 目 | 04 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

## (11)コスト

| | | 年度 | 25年度実績値 | 26年度実績値 | 27年度計画値 | 28年度目標値 | 29年度目標値 | 30年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業費 (決算又は予算額) | | 単位 | 176 | 165 | 232 | 232 | 236 | 236 |
| A 財源内訳 | 国庫支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 県支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 千円 | 176 | 165 | 232 | 232 | 236 | 236 |
| 人件費Ｂ | | 千円 | 2,225 | 2,370 | 3,400 | 2,061 | 2,061 | 2,061 |
| | 正職員従事時間×人数 | 時間×人 | 200 × 3 | 230 × 3 | 330 × 3 | 200 × 3 | 200 × 3 | 200 × 3 |
| | 正職員以外の人件費 | 千円 | | | | | | |
| その他費用Ｃ | | 千円 | 28 | 22 | 28 | 28 | 28 | 28 |
| トータルコストA+B+C | | 千円 | 2,429 | 2,557 | 3,660 | 2,321 | 2,325 | 2,325 |
| 単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標) | ① | 千円/　人 | 304 | 320 | 458 | 290 | 291 | 291 |
| | ② | 千円/ | | | | | | |
| | ③ | 千円/ | | | | | | |

様式1-2

| 2 環境変化と住民意見等 | 事務事業名 | No. | 580406 | 図書館協議会運営事業 |
|---|---|---|---|---|

| (1)この事務事業はいつから開始したのか？ | (4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？ |
|---|---|
| 昭和５２年１０月１９日　から | 図書館の運営に対し、いただいた意見等を事業に反映する |
| (2)この事務事業を開始したきっかけは？<br>図書館法第１４条に設置規定があり、図書館の運営に対する市民の意見を反映するため。 | |
| (3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？<br>■変化していない<br>□変化している → 変化した内容 | |

| 3 評価（SEE） | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 目的妥当性 | (1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？<br>また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？ | □法定受託事務<br>■自治事務 | 根拠法令 | 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する | |
| | | | 根拠法令 | 図書館法第14条、15条、16条及びみよし市立図書館設置条例 | |
| | | | この事務を行う根拠又は理由 | 図書館の適切な運営のため | |
| | (2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？ | ■結びつく<br>□結びつかない | 理由 | | |
| | (3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？ | ■できる → □拡大 / ■縮小<br>□できない | 内容 | 公務多忙につき、校長代表1名を削減。 | |
| | (4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？ | □できる → □追加 / □拡充 / □絞込み<br>■できない | 内容 | | |
| 有効性 | (5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？ | ■影響が大きい<br>□多少影響がある<br>□影響はない | 理由又は内容 | | |
| | (6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？<br>※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？ | □できる<br>■できない | 理由又は内容 | 運営が適切に行われており、意見等も事業に反映している。 | |
| | (7)類似又は関連する事業はありませんか？<br>また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？ | □ある → □庁内事業 / □庁外事業<br>■ない | 類似事業名 | | |
| | | | 類似事業との再編の可能性 | □ある → 内容<br>□ない | |
| 効率性 | (8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など) | □ある<br>■ない | 内容 | | |
| | (9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？) | □ある<br>■ない | 内容 | | |
| 公平性 | (10)受益者負担はありますか？<br>また、受益者負担割合は適正ですか？ | □ある → □現状で適正 / □検討が必要<br>□ない → □現状で適正 / □検討が必要<br>■受益者がいない | 内容 | | |

| 4 改革改善案（PLAN） | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | (1)今後の事業の方向性 | □拡大 | □改善 | ■現状維持 | □縮小 | □統合 | □廃止・休止 |
| | | コストの方向性 | ↓　削減 | 事業費の方向性 | →　維持 | 成果の方向性 | →　維持 |
| | (2)改革・改善案<br>※対象、意図、手段等の見直しなど | | | | | | |

様式1-1

# 平成27 年度（ 26 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 27 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

| 事務事業名 | No. 580407 | 図書館施設管理事業 | 主管課名 | 教育行政課 |
|---|---|---|---|---|
| この事務事業の位置 | 政策 | 誰もが健康で生きがいのある暮らし | | |
| | 施策 | 文化・芸術に親しみ、育むまち | 課長名 | 深谷　幸広 |
| | 基本事業 | 図書館の整備 | | |

## (1)事業の概要

図書館施設の維持管理を行い、安全で利用しやすい図書館サービスの提供を行う。

(26年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)

光熱水費の支払い。図書館運営に必要な窓口職員の配置。年に一度の曝書（棚卸し）を行い、図書資料と施設の維持管理。
水銀灯修繕、冷却水ポンプ取替修繕、自動火災報知設備修繕、駐車場標識修繕他。

27年度計画　■前年と同様　□変更あり　変更内容

## (5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標)　･･･数値は(9)

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 入館者数（中央図書館） | 人 |
| ② | 開館日数（中央図書館） | 日 |
| ③ | | |

その指標

## (2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

中央図書館

## (6)対象指標(対象の大きさを表す指標)　･･･数値は(9)

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 延床面積 | ㎡ |
| ② | | |
| ③ | | |

## (3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

来館者が快適、安全に利用できる施設にする。

## (7)成果指標(意図の達成度を示す指標)　･･･数値は(9)

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 図書館施設への苦情件数 | 人 |
| ② | | |
| ③ | | |

## (4)結果(上位基本事業の意図)

利用しやすい図書館サービスを充実し、教養や知識を習得してもらう。

## (8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標)　･･･数値は(9)

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 市民１人あたりの図書利用冊数 | 冊 |
| ② | | |
| ③ | | |

## (9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

| 指標＼年度 | | 単位 | 25年度実績値 | 26年度実績値 | 27年度計画値 | 28年度目標値 | 29年度目標値 | 30年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| (5)の活動指標 | ① | 人 | 86,892 | 80,556 | 90,000 | 202,500 | 270,000 | 270,000 |
| | ② | 日 | 296 | 291 | 289 | 197 | 289 | 289 |
| | ③ | | | | | | | |
| (6)の対象指標 | ① | ㎡ | 879 | 879 | 879 | 3,253.04 | 3,253.04 | 3,253.04 |
| | ② | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | |
| (7)の成果指標 | ① | 人 | 4 | 2 | 5 | 4 | 5 | 5 |
| | ② | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | |
| (8)の結果の成果指標 | ① | 冊 | 5.4 | 5.1 | 5.3 | 7.8 | 10.3 | 10.2 |
| | ② | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | |

## (10)予算費目

| 会計 | 01 一般会計 | 款 | 10 | 項 | 05 | 目 | 04 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

## (11)コスト

| (11)コスト | 年度 | 25年度実績値 | 26年度実績値 | 27年度計画値 | 28年度目標値 | 29年度目標値 | 30年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業費 (決算又は予算額) | 単位 | 20,563 | 22,805 | 23,509 | 69,917 | 68,001 | 68,001 |
| A 財源内訳 国庫支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 県支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 地方債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他 | 千円 | 3 | 5 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| 一般財源 | 千円 | 20,560 | 22,800 | 23,506 | 69,914 | 67,998 | 67,998 |
| 人件費B | 千円 | 18,552 | 19,984 | 19,984 | 75,934 | 75,934 | 75,934 |
| 正職員従事時間×人数 | 時間×人 | 250 × 4 | 280 × 5 | 280 × 5 | 250 × 4 | 250 × 4 | 250 × 4 |
| 正職員以外の人件費 | 千円 | 14,845 | 15,176 | 15,176 | 72,500 | 72,500 | 72,500 |
| その他費用C | 千円 | 117 | 60 | 117 | 117 | 117 | 117 |
| トータルコストA+B+C | 千円 | 39,232 | 42,849 | 43,610 | 145,968 | 144,052 | 144,052 |
| 単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標) ① | 千円/ ㎡ | 45 | 49 | 50 | 45 | 44 | 44 |
| ② | 千円/ | | | | | | |
| ③ | 千円/ | | | | | | |

様式1-2

| 2 環境変化と住民意見等 | 事務事業名 | No. | 580407 | 図書館施設管理事業 |
|---|---|---|---|---|

| (1)この事務事業はいつから開始したのか？ | (4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？ |
|---|---|
| 昭和５３年４月　から | 施設が老朽化及び手狭になっているため、市民から図書館を含めた複合施設建設の要望がある。<br>複合施設開館準備時には、作業人員が必要となる。 |
| (2)この事務事業を開始したきっかけは？ | |
| 図書館を建設し、図書館事業を開始したため。 | |
| (3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ | |
| □変化していない<br>■変化している → 変化した内容：開館33年を経過し、施設そのものが老朽化及び人口の急増により手狭である。 | |

| 3 評価（SEE） | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 目的妥当性 | (1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？<br>また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？ | □法定受託事務<br>■自治事務 | 根拠法令 | 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する | |
| | | | 根拠法令 | なし | |
| | | | この事務を行う根拠又は理由 | 図書館で適正に管理運営するため。 | |
| | (2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？ | ■結びつく<br>□結びつかない | 理由 | | |
| | (3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？ | □できる → □拡大 / □縮小<br>■できない | 内容 | | |
| | (4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？ | □できる → □追加 / □拡充 / □絞込み<br>■できない | 内容 | | |
| 有効性 | (5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？ | ■影響が大きい<br>□多少影響がある<br>□影響はない | 理由又は内容 | | |
| | (6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？<br>※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？ | ■できる<br>□できない | 理由又は内容 | （仮称）図書館学習交流プラザ開館により図書館の施設機能が充実し来館者の快適さや安全性の向上が見込める。 | |
| | (7)類似又は関連する事業はありませんか？<br>また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？ | □ある → □庁内事業 / □庁外事業<br>■ない | 類似事業名 | | |
| | | | 類似事業との再編の可能性 | □ある<br>□ない | 内容 |
| 効率性 | (8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など) | □ある<br>■ない | 内容 | | |
| | (9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？) | □ある<br>■ない | 内容 | | |
| 公平性 | (10)受益者負担はありますか？<br>また、受益者負担割合は適正ですか？ | □ある / ■ない → ■現状で適正 / □検討が必要<br>□受益者がいない | 内容 | | |

| 4 改革改善案（PLAN） | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| (1)今後の事業の方向性 | ■拡大 | □改善 | □現状維持 | □縮小 | □統合 | □廃止・休止 |
| | コストの方向性 | ↑　増加 | 事業費の方向性 | ↑　増額 | 成果の方向性 | →　維持 |
| (2)改革・改善案<br>※対象、意図、手段等の見直しなど | （仮称）図書館学習交流プラザの開館に向けて整備を行う。<br>（平成28年度開館予定）<br>複合施設管理運営検討委員会での協議結果を反映し管理運営を図る。 | | | | | |